

## 研究成果リスト (学会口頭・ポスター発表)

令和 6 年 10 月 31 日現在

(2024 年)

1. 安邊啓明, 星 博幸, 羽地俊樹, 佐藤活志, 仁木創太, 平田岳史, 岩野英樹, 檀原徹 (2024) : 砕屑性ジルコンの U-Pb 年代から下部-中部中新統田辺層群の堆積年代を制約できるか, 日本地質学会第 131 年学術大会.
2. 安邊啓明, 南 沙樹 (2024) : 谷川岳花崗岩類中の石英に発達するマイクロクラックが示す鮮新世の逆断層型応力, 日本地球惑星科学連合 2024 年大会.
3. 安邊啓明, 南 沙樹 (2024) : 谷川岳花崗岩類中の石英に発達するマイクロクラックが示す鮮新世の逆断層型応力, 日本地質学会中部支部 2024 年支部年会.
4. 秋澤紀克, Cunningham, E., Sanfilippo, A., Morishita, T., Pandey, A., Poulaki, E.M., Bickert, M., Vannucchi, P., Lei, C., Gontharet, S.B.L., Zitellini, N., Malinverno, A., Estes, E.R., Abe, N., Stefano, A.D., Filina, I.Y., Fu, Q., Kearns, L.E., Koorapati, R.K., Loreto, M.F., Magri, L., Menapace, W., Pavlovics, V.L., Pezard, P.A., Rodriguez-Pilco, M.A., Shuck, B., Zhao, X. (2024) : 背弧海盆マントルの化学的特徴:IODP Exp.402 で採取した地中海ティレニア海盆カンラン岩の例, 2024 年度日本地球化学会 第 71 回年会.
5. 天兒幹治, 安江健一, 野村成宏, 丹羽正和, 島田耕史 (2024) : 地中レーダ探査による断層の横ずれ変位量の調査手法の開発, 日本地質学会中部支部 2024 年支部年会.
6. 天兒幹治, 安江健一, 野村成宏, 丹羽正和, 島田耕史 (2024) : 地中レーダ探査の 3 次元解析を用いた活断層の分布と変位の調査, 日本活断層学会 2024 年度秋季学術大会.
7. 出井俊太郎, 天野由記, 杉浦佑樹, 柴田真仁, 根岸久美, 横山立憲, 鏡味沙耶, 武田匡樹, 望月陽人, 櫻井彰考, 舘 幸男 (2024) : 幌延 URL における泥岩とセメントの原位置での相互作用と変質挙動: 普通ポルトランドセメントと低アルカリセメントの比較, 日本地球惑星科学連合 2024 年大会.
8. 藤田奈津子, 神野智史, 南谷史菜 (2024) : プラチナ触媒を用いた炭素 14 質量分析装置の開発, 原子衝突学会第 49 回年会.
9. 藤田奈津子, 神野智史, 南谷史菜, 三宅正恭, 松原章浩, 前田祐輔, 木田福香, 小川

- 由美, 西尾智博, 大前昭臣, 宇野定則, 渡邊隆広, 木村健二, 島田耕史 (2024) : JAEA-AMS-TONO における加速器質量分析装置に関する研究開発, 第 85 回応用物理学会秋季学術講演会, 2024.
10. Fujita, N., Matsubara, A., Miyake, M., Watanabe, T., Jinno, S., Nishio, T., Ishii, M., Ohmae, A., Ogawa, Y., Kimura, K., Shimada, A., Shimada, K. (2024) : Status report of JAEA-AMS-TONO, The 16th International Conference on Accelerator Mass Spectrometry (AMS-16)2024.
  11. 藤田奈津子, 三宅正恭, 松原章浩, 石井正博, 神野智史, 渡邊隆広, 西尾智博, 小川由美, 大前昭臣, 木村健二, 島田顕臣, 島田耕史, 前田祐輔 (2024) : JAEA-AMS-TONO の現状(2023), 第 36 回タンデム加速器及びその周辺技術の研究会.
  12. 藤田奈津子, 三宅正恭, 松原章浩, 石井正博, 高橋悠人, 渡邊隆広, 神野智史, 西尾智博, 小川由美, 木村健二, 島田顕臣, 島田耕史(2024) : JAEA-AMS-TONO の現状(令和 5 年度), 第 24 回 AMS シンポジウム.
  13. Fukuda, S., Ishikawa, N., Nakajima, T. (2024) : Xe ion irradiation on natural Ce-monazite crystals: insights into the fission-track method, 応用物理学会 薄膜・表面物理分科会第 24 回「イオンビームによる表面・界面の解析と改質」特別研究会.
  14. 福田将眞, 新正裕尚, 安間 了, 鏡味沙耶, Kohn, B.P. (2024) : 西南日本外帯に分布する中期中新世岩体の熱年代学的解釈, 日本地質学会第 131 年学術大会.
  15. 神野智史, 藤田奈津子, 田沼 肇 (2024) : イオンファンネルを用いた塩素 36 年代測定技術の開発, 原子衝突学会第 49 回年会.
  16. 羽地俊樹, 安邊啓明 (2024) : 中新統三崎層群の小断層からみる四国南西端の中新世以降の地質構造発達史, 日本地質学会第 131 年学術大会.
  17. 箱岩寛晶, 長田充弘, 山田来樹, 丹羽正和 (2024) : 岐阜県及び長野県に分布する美濃帯堆積岩から得られたジルコン U-Pb 年代, 日本地球惑星科学連合 2024 年大会.
  18. 石原隆仙, 細矢卓志, 松本なゆた, 中瀬千遥, 島田耕史, 丹羽正和 (2024) : 岩盤露頭の割れ目抽出に関する UAV 活用の試み, 日本地球惑星科学連合 2024 年大会.
  19. 板山由依, 益木悠馬, 南 雅代, 落合伸也, 由水千景, 陀安一郎, 丹羽正和, 勝田長貴 (2024) : モンゴル高原東部ブイル湖の湖底堆積物を用いた過去 89 年間の環境変動解析, 日本地球惑星科学連合 2024 年大会.

20. 鏡味沙耶, 丹羽正和, 横山立憲, 島田耕史, 木田福香 (2024) : 地球化学的特徴に基づく六甲山地北東部の五助橋断層における流体岩石相互作用の評価, 日本地球化学会第 71 回年会.
21. 鏡味沙耶, 安江健一, 長田充弘, 横山立憲, 田村糸子 (2024) : 富山県呉羽山丘陵におけるテフラ層序:Znp-大田テフラの再評価, 日本地球惑星科学連合 2024 年大会.
22. 川村 淳, 西山成哲, 小松哲也, 賈 華, 小泉由起子, 樺沢さつき, 中西利典, 梅田浩司 (2024) : 実際の地形と地形変化シミュレーションにより仮想的に作成した地形との比較ーその 2:地形特微量の比較ー, 日本地質学会第 131 年学術大会.
23. 川村 淳, 西山成哲, 小松哲也, 賈 華, 小泉由起子, 樺沢さつき, 梅田浩司 (2024) : 河川下刻による地形変化が地下環境及び地表環境に与える影響評価技術の高度化, 日本原子力学会 2024 年秋の大会.
24. 川村 淳, 西山成哲, 小松哲也, 賈 華, 景山宗一郎, 小泉由起子, 中西利典 (2024) : 処分場の性能評価モデル構築のための地形情報の整備〜その 2 流域形状による流出指標データの整備〜, 日本地球惑星科学連合 2024 年大会.
25. 木田福香, 落合伸也, 渡邊隆広, 松中哲也, 橋野虎太郎, 藤田奈津子, 山崎慎一, 土屋範芳, 奈良郁子(2024) : 小松市木場瀉堆積物の放射性炭素年代と含水率から推定される完新世の海水準変動, 日本第四紀学会 2024 年大会.
26. 木田福香, 落合伸也, 渡邊隆広, 松中哲也, 橋野虎太郎, 山崎慎一, 山岸裕幸, 土屋範芳, 奈良郁子(2024) : 木場瀉堆積物のハロゲン元素(Br)を指標とした日本海沿岸における完新世の海水準変動復元, 2024 年度日本地球化学会第 71 回年会.
27. 國分陽子, 西尾智博, 藤田奈津子 (2024) : 岐阜県瑞浪市八幡神社木製鳥居の年代測定, 日本放射化学会第 68 回討論会(2024).
28. 小松哲也, 本郷美佐緒, 古澤 明, 塚原柚子, 川村 淳, 西山成哲, 菅野瑞穂, 安江健一 (2024) : 地形層序から考えられる時代よりも遥かに古い時代に形成されていた可能性がある高位海成段丘:能登半島, 七尾湾北部の事例, 日本地球惑星科学連合 2024 年大会.
29. Malatesta, L.C., Weiss, N.-M., Ishimura, D., Gailleton, B., Nishimura, T., Takahashi, N., Tsukamoto, S., Komatsu, T., Iwasa, Y., Sueoka, S., Kataoka, K. (2024) : The 2024 Noto Peninsula Earthquake and the million year preceding it, Japan Geoscience Union Meeting 2024.

30. Malatesta, L.C., Sueoka, S., Kataoka, K., Komatsu, T., Tsukamoto, S., Bruhat, L., Olive, J.-A. (2024) : Geology and geomorphology of the Jan 1st 2024 Mw 7.6 Noto Peninsula Earthquake: observations and context, European Geosciences Union General Assembly 2024.
31. 正木駿兵, 横山哲也, 羽場麻希子, 鏡味沙耶 (2024) : Toward the determination of the initial  $^{146}\text{Sm}$  abundance of outer Solar System, 日本地球惑星科学連合 2024 年大会.
32. 益木悠馬, 板山由依, 南 雅代, 丹羽正和, 由水千景, 陀安一郎, 勝田長貴 (2024) : 安定同位体比と有機元素組成に基づく姉川湖成層のヒ素の起源と堆積過程, 日本地球惑星科学連合 2024 年大会.
33. 松原章浩, 藤田奈津子, 三宅正恭, 石井正博, 大前昭臣, 前田祐輔 (2024) : JAEA-AMS-TONO の現状(2023 年度); 主としてバリスタ破損の原因について, 第 36 回タンデム加速器及びその周辺技術の研究会.
34. Matsubara, A., Saito-Kokubu, Y., Nishio, K., Kashimura, K., Shimada, K., Kimura, K., Fujita, N. (2024) : Concept for a Cesium-Free Negative Ion Source based on Microwave Heating of a Low Work Function Granular Material, The 16th International Conference on Accelerator Mass Spectrometry (AMS-16)2024.
35. 松永佳大, 相澤広記, 浅森浩一, 小川大輝, 宇津木充, 吉村令慧, 山崎健一, 内田和也 (2024) : Three-dimensional resistivity structure of the epicenter area of the 1997 Kagoshima earthquake doublet, Japan, 日本地球惑星科学連合 2024 年大会.
36. Matsunaga, K., Aizawa, K., Asamori, K., Ogawa, H., Utsugi, M., Yoshimura, R., Yamazaki, K., Uchida, K., Yamaguchi, M., Inoue, T., Okuda, Y., Yonemori, K., Shigematsu, H., Sunagawa, H. (2024) : Three-dimensional resistivity structure of the epicenter area of the 1997 Kagoshima earthquake doublet, Japan, The 26th EM Induction Workshop.
37. Minami, S., Sueoka, S., Fukuda, S., Malatesta, L.C., Kawakami, T., Higashino, F., Kajita, Y., Tagami, T. (2024) : Separation of exhumation and post-intrusion cooling with thermochronology, Al-in-Hbl geo-barometry, and numerical thermal modeling: an example from Central Japan, European Geosciences Union General Assembly 2024.
38. 南 沙樹, 末岡 茂, 福田将眞, Malatesta, L.C., Kohn, B.P., 河上哲生, 東野文子, 梶田侑弥, 田上高広 (2024) : Improved exhumation history estimates for the Pliocene Tanigawa-dake granites using thermochronometry, Al-in-Hbl geobarometry and 1D heat numerical modeling, 日本地球惑星科学連合 2024 年大会.

39. 三ツ口丈裕, 岡部宣章, 國分陽子, 松崎浩之 (2024) : 造礁サンゴ年輪のヨウ素 129 に記録された人類核活動, 電気学会・原子力技術委員会『持続可能な社会構築に資する放射線技術の最前線』調査専門委員会.
40. 村上 理 (2024) : 2024 年能登半島地震による S 波偏向異方性の変動, 日本地球惑星科学連合 2024 年大会.
41. 中嶋 徹, 仁木創太, 工藤駿平, 河上哲生, 東野文子, 平田岳史, 酒井治孝 (2024) : Zircon-hosted melt and fluid inclusions as a trace of multiple orogenic events: the Bhimphedian orogeny overprinted by the Himalayan orogeny, 日本地球惑星科学連合 2024 年大会.
42. 中村謙佑, 相澤広記, 浅森浩一, 大志万直人, 塩崎一郎, 2001 年 地殻比抵抗研究グループ (2024) : Re-analysis of broad-band magneto-telluric data in the focal region of the 2000 Western Tottori Earthquake, 日本地球惑星科学連合 2024 年大会.
43. Nakamura, K., Aizawa, K., Asamori, K., Oshiman, N., Shiozaki, I., The 2001 Research Group for Crustal Resistivity structure (2024) : Re-analysis of broad-band magneto-telluric data in the focal region of the 2000 Western Tottori Earthquake (Mj=7.3), The 26th EM Induction Workshop.
44. 西山成哲, 川村 淳, 小松哲也, 賈 華, 小泉由起子, 中西利典, 梅田浩司 (2024) : 処分場の性能評価モデル構築のための地形情報の整備~その 1 河川横断面データの整備~, 日本地球惑星科学連合 2024 年大会.
45. 西山成哲, 川村 淳, 小松哲也, 賈 華, 小泉由起子, 樺沢さつき, 中西利典, 梅田浩司 (2024) : 実際の地形と地形変化シミュレーションにより仮想的に作成した地形との比較-その 1:河川横断地形の比較-, 日本地質学会第 131 年学術大会.
46. 丹羽正和, 末岡 茂, 島田耕史, 島田顕臣, 西山成哲, 中嶋 徹, 渡邊隆広, 川村 淳 (2024) : 地質環境の長期安定性に関する研究の現状-土岐地球年代学研究所における取り組み-, 日本原子力学会 バックエンド部会第 40 回バックエンド夏期セミナー.
47. 小形 学, 塚原柚子, 西山成哲, 小松哲也, 内田真緒, 川村 淳, 石原隆仙, 中西利典 (2024) : 旧流路堆積物に対する長石 OSL 年代測定法の適用による下刻・隆起速度の推定:大井川の事例, 日本地球惑星科学連合 2024 年大会.
48. 小北康弘, 仁木創太, 長田充弘, 平田岳史, 湯口貴史 (2024) : チタン石の U-Pb 年代測定に基づく熱水変質プロセスの年代学的制約:北上山地, 遠野複合深成岩体のケー

- ス, 日本地球惑星科学連合 2024 年大会.
49. 沢田 輝, 大柳良介, 仁木創太, 吉田一貴, 長田充弘, 平田岳史, 岡本 敦 (2024) : 小さな岩体に大きな不均質—三波川変成帯蛇紋岩体のジルコニウム・トリウム鉱物のウラン鉛年代と元素イメージングから, 日本地球惑星科学連合 2024 年大会.
  50. 下茂道人, 丹羽正和, 横井 悟, 八木浩司, 徳永朋祥 (2024) : 青沢断層における大気中メタン濃度のアノマリについて, 日本地球惑星科学連合 2024 年大会.
  51. 末岡 茂 (2024) : 日本列島の鮮新世-第四紀の山地形成における低温熱年代の適用性, 日本地球惑星科学連合 2024 年大会.
  52. 末岡 茂, 福田将眞, Kohn, B.P., 田上高広 (2024) : 佐渡島の花崗岩類の冷却・削剥史(速報), 日本地質学会第 131 年学術大会.
  53. 末岡 茂, 小松哲也, 小形 学, 福田将眞, 中嶋 徹, 西山成哲, 塚原柚子, 内田真緒, 川村 淳 (2024) : 地質環境の長期安定性に関する研究の取り組み;隆起・侵食研究を例に, 日本原子力学会 バックエンド部会第 40 回バックエンド夏期セミナー.
  54. Tagami, T., Hasebe, N., Sueoka, S. (2024) : Overview of thermochronological studies in and around the Japan Arc; towards Thermo2025 Conference in Kanazawa, Japan, European Geosciences Union General Assembly 2024.
  55. 田上高広, 長谷部徳子, 末岡 茂 (2024) : Overview of thermochronological studies in and around the Japan Arc; towards Thermo2025 Conference in Kanazawa, Japan, 日本地球惑星科学連合 2024 年大会.
  56. Tanaka, K., Oohashi, K., Muto, J., Oka, T. (2024) : Behavior of a trapped charge at the E<sub>1</sub>' center to seismic fault slips with various frictional densities, EPRBioDose2024.
  57. 田中桐葉, 小形 学, 塚原柚子, 西山成哲 (2024) : 石英中 ESR 信号の露頭表面からの深さ依存性, 日本地球惑星科学連合 2024 年大会.
  58. 舘野宏彰, 宮本 樹, 小松哲也, 須貝俊彦 (2024) : 関東平野北部, 思川・渡良瀬川流域における MIS6 以降の地形発達過程と海成層・河成層の高度に基づいた地殻変動速度評価, 日本地球惑星科学連合 2024 年大会.
  59. 寺田龍矢, 細矢卓志, 西山成哲, 小松哲也, 内田真緒, 小形 学, 石原隆仙, 川村 淳, 中西利典(2024) : 大井川上流域の環流旧河谷で新たに認められた湖成堆積物と地形の発達, 日本第四紀学会 2024 年大会.

60. 塚原柚子, 齋藤俊仁, 中西利典, 西山成哲, 藤田奈津子, 川村 淳, 梅田浩司 (2024) : 伊豆半島城ヶ崎海岸の石灰質生物遺骸から推定される地殻変動の特徴, 日本地球惑星科学連合 2024 年大会.
61. 内田真緒, 西山成哲, 小形 学, 小松哲也, 塚原柚子, 石原隆仙, 川村 淳, 中西利典, 寺田龍矢, 細矢卓志 (2024) : 大井川流域の環流旧河谷で掘削したボーリングコアの堆積物の特徴, 日本第四紀学会 2024 年大会.
62. 若尾尚幸, 本山 葵, 市來雅啓, 小川康雄, 上嶋 誠, 浅森浩一, 内田利弘, 長谷英彰, 小山崇夫, 坂中伸也, 山谷祐介, 相澤広記, Songkhun Boonchaisuk, 海田俊輝 (2024) : 東北地方南部広域の広帯域 MT 観測網から推定した会津・米沢・吾妻地域地殻比抵抗構造, 日本地球惑星科学連合 2024 年大会.
63. 山田来樹 (2024) : 富山堆積盆に分布する漸新統～中部中新統の形成年代, 日本地質学会第 131 年学術大会.
64. 山田来樹, 長田充弘, 高橋俊郎, 植田勇人 (2024) : 放射年代と層序に基づいた富山堆積盆に分布する中新統南砺・八尾層群の精密な年代層序, 日本地球惑星科学連合 2024 年大会.
65. 山田来樹, 丹羽正和, 梅田浩司, 八木公史, 藤原泰誠, 岡田郁生, 木田福香 (2024) : 九州地方南部に分布する前期更新世安山岩類の K-Ar 年代と化学組成, 日本鉱物科学会 2024 年年会.
66. 横井 悟, 下茂道人, 丹羽正和, 松岡俊文, 徳永朋祥 (2024) : CRDS 微量ガス検知器の石油ガス探鉱への応用, 3; 酒田・青沢断層におけるメタンガス徴の意義, 石油技術協会令和 6 年度春季講演会.
67. 横山立憲, 鏡味沙耶, 丹羽正和, 三澤啓司, 可児智美, 米田成一 (2024) : 断層試料の K-Ca 法による年代測定 -断層の活動性評価に向けて-, 日本地球化学会第 71 回年会.
68. Zwingmann, H., Berger, A., Todd, A., Niwa, M., Rahn, M. (2024) : Physical deformation of Rochester shale and Opalinus clay; Impacts on isotopic signatures of clay minerals, 61st Annual Meeting of The Clay Minerals Society.

(2023 年)

1. 安邊啓明, 佐藤活志 (2023) : 静岡県中部倉真層群に記録された褶曲に伴う横ずれ断

層型応力, 日本地球惑星科学連合 2023 年大会, SGL23-P05.

2. 安藤麻里子, 小嵐 淳, Liang, N., 高木健太郎, 近藤俊明, 平野高司, 寺本宗正, 高木正博, 石田祐宣, 市井和仁, Sun, L., 國分陽子, 藤田奈津子 (2023): 放射性炭素を利用した微生物呼吸の年代とその影響因子の評価, 第 134 回日本森林学会大会.
3. Balkanska, E., Georgiev, S., Márton, I., Kounov, A., Peytcheva, I., Antić, M., Tagami, T., Sueoka, S., Wijbrans, J. (2023): Thermochronological constraints on the thermal evolution of magmatic rocks associated with Chelopech Au-Cu deposit, 18th International Conference on Thermochronology.
4. Bartz, M., King, G.E., Heran, F., Anderson, L.S., Sueoka, S., Tsukamoto, S., Tagami, T. (2023): Unravelling rock cooling histories of the Japanese Alps within the past 1 Ma using ESR and OSL thermochronometry, 17th International Luminescence and Electron Spin Resonance Dating conference.
5. Bartz, M., King, G.E., Herman, F., Anderson, L.S., Sueoka, S., Tsukamoto, S., Tagami, T. (2023): High-relief exhumation history in the Japanese Alps within the past 1 Ma inferred from trapped charge thermochronometry, The General Assembly 2023 of the European Geosciences Union.
6. 土井駿仁, 安江健一, 島田耕史 (2023): 森林内における活断層に係る微地形の把握: 阿寺断層帯の例, 日本活断層学会 2023 年度秋季学術大会.
7. 藤田奈津子, 松原章浩, 神野智史, 木村健二(2023): JAEA-AMS-TONO における超小型 AMS の開発, 2023 年第 70 回応用物理学会春季学術講演会.
8. 藤田奈津子, 松原章浩, 神野智史, 木村健二 (2023): JAEA-AMS-TONO における超小型 AMS の開発, 第 33 回日本 MRS 年次大会.
9. 藤田奈津子, 三宅正恭, 松原章浩, 石井正博, 神野智史, 渡邊隆広, 西尾智博, 小川由美, 木村健二, 島田顕臣, 高橋悠人, 島田耕史 (2023): JAEA-AMS-TONO における加速器質量分析装置に関する研究開発;2022 年度, 2023 年第 84 回応用物理学会秋季学術講演会.
10. Fujita, N., Miyake, M., Matsubara, A., Ishii, M., Takahashi, Y., Nishio, T., Ogawa, Y., Shimada, A., Shimada, K. (2023): The 300kV multi-element AMS system at the TONO Geoscience Center, JAEA; First performance report, 26th International Conference on Ion Beam Analysis / IBA-2023 and the 18th International Conference on Particle Induced X-ray Emission (IBA & PIXE 2023).



11. 藤田奈津子, 三宅正恭, 松原章浩, 石井正博, 渡邊隆広, 神野智史, 西尾智博, 小川由美, 木村健二, 石丸恒存, 島田顕臣, 高橋悠人, 島田耕史 (2023) : JAEA-AMS-TONOの現状(2022), 第35回タンデム加速器及びその周辺技術の研究会.
12. Fukuda, S., Kohn, B.P., Sueoka, S., Danhara, T., Iwano, H., Tagami, T. (2023) : Evaluation of eight zircon samples as potential reference material for (U-Th)/He thermochronometry, 18th International Conference on Thermochronology.
13. Fukuda, S., Nakajima, T., Suzuki, A., Sueoka, S., Tagami, T. (2023) : Termination criterion of step-etching in monazite fission-track thermochronometry: Toward the realization of etching of various characteristic monazites, 18th International Conference on Thermochronology.
14. 福田将眞, 岡本 晃, Kohn, B.P., 新正裕尚, 末岡 茂, 田上高広 (2023) : 四国山地における低温領域の熱年代データの空間分布とその解釈, ESR 応用計測研究会・ルミネッセンス年代測定研究会・フィッション・トラック研究会 2023 年度合同研究会.
15. 福田将眞, 末岡 茂, 鏡味沙耶, 梶田侑弥, 田上高広 (2023) : 奥羽脊梁山地南部における白亜紀花崗岩類のアパタイトフィッション・トラック年代の空間分布: 火山弧のドーム状隆起への知見, 日本地球惑星科学連合 2023 年大会, SCG54-P05.
16. 福井堂子, 下岡和也, 小北康弘, 長田充弘, 高橋俊郎, 齊藤 哲 (2023) : 愛媛県伯方島産白亜紀花崗岩類に伴う交代性閃長岩類の岩石学的研究: 対照的な 2 種類の Na 交代作用, 日本地質学会第 130 年学術大会, T9-P-7.
17. 福井堂子, 下岡和也, 小北康弘, 長田充弘, 高橋俊郎, 齊藤 哲 (2023) : アルカリ交代作用による西南日本白亜紀花崗岩類の閃長岩化: 愛媛県伯方島産交代性閃長岩類の例, 第 23 回日本地質学会四国支部総会・講演会.
18. 羽地俊樹, 安邊啓明 (2023) : 四国南西部, 中新統三崎層群の小断層の産状と応力解析, 日本地質学会第 130 年学術大会, T5-P-3.
19. 箱岩寛晶, 島田耕史, 川村 淳, 西山成哲, 後藤 翠 (2023) : 温泉湧出露頭の割れ目分布の特徴: 紀伊半島上湯温泉の例, 日本地球惑星科学連合 2023 年大会, HCG21-P07.
20. Ishikawa, N., Fukuda, S., Nakajima, T., Ogawa, H., Fujimura, Y., Taguchi, T. (2023) : Ion tracks and nanohillocks in zirconia-based oxides irradiated with swift heavy ions, 21st International Conference on Radiation Effects in Insulations.
21. 板山由依, 早野明日香, 亀谷侑史, 安田志桜里, 村上拓馬, 落合伸也, 丹羽正和, 勝

- 田長貴 (2023) : 湖沼堆積物を用いたバイカル湖南部における過去 15 万年間の古環境変動解析, 日本地球惑星科学連合 2023 年大会, MIS15-P09.
22. Jinno, S., Matsubara, A., Fujita, N., Kimura, K. (2023) : A Novel approach to downsized AMS by introducing surface stripper method, 26th International Conference on Ion Beam Analysis / IBA-2023 and the 18th International Conference on Particle Induced X-ray Emission (IBA & PIXE 2023).
  23. 神野智史, 藤田奈津子, 田沼 肇 (2023) : 塩素年代測定における妨害原子のイオン分子反応による抑制, 第 11 回イオン移動度研究会.
  24. 神野智史, 松原章浩, 藤田奈津子, 木村健二 (2023) : 超小型加速器質量分析装置の開発, トリチウム研究会 2023.
  25. 鏡味沙耶, 丹羽正和, 梅田浩司, 檀原 徹, 藤田奈津子, 中西利典, 鎌滝孝信, 黒澤英樹 (2023) : 火山ガラスの化学組成に基づく宮崎平野コアのイベント堆積層の対比, 日本地球惑星科学連合 2022 年大会, HQR03-01.
  26. 鏡味沙耶, 横山立憲, 梅田浩司, 安江健一, 丹羽正和, 古澤 明, 田村糸子 (2023) : 火山ガラスの微量元素組成によるテフラの詳細な対比にむけて—大田テフラを例に—, 日本地球化学会.
  27. 梶田侑弥, 末岡 茂, 谷 篤史, 磯谷舟佑, 田上高広 (2023) : 日本の山岳地域における ESR 熱年代学の適用—試料の前処理による ESR 信号への影響の評価—, ESR 応用計測研究会・ルミネッセンス年代測定研究会・フィッション・トラック研究会 2022 年度合同研究会.
  28. 梶田侑弥, 塚本すみ子, 末岡 茂, 福田将眞, 田上高広 (2023) : ESR 熱年代学を用いた第四紀の隆起・剝蝕史推定—北上山地における上下変動の南北差の定量的検出の試み—, ESR 応用計測研究会・ルミネッセンス年代測定研究会・フィッション・トラック研究会 2023 年度合同研究会.
  29. 加藤あすか, 加藤丈典, 小北康弘, 湯口貴史, 笹尾英嗣 (2023) : 花崗岩中の石英のカソードルミネッセンスパターンとチタン濃度定量による石英の結晶化プロセスの解明, 日本鉱物科学会 2023 年年会.
  30. 川村 淳, 賈 華, 小泉由起子, 西山成哲, 梅田浩司 (2023) : 河川下刻による地形変化に関するデータ収集及び予察的な解析, 日本地質学会第 130 年学術大会, T14-O-8.
  31. 川村 淳, 賈 華, 小泉由起子, 丹羽正和, 梅田浩司 (2023) : 火山岩岩脈分布に着目したマグマの影響範囲を把握するためのデータ収集・整理の取り組み—中国・四国地方を

例としてー、第 39 回バックエンド夏期セミナー。

32. 川村 淳, 西山成哲, Jia, H., 小泉由起子, 梅田浩司, 中西利典 (2023) : 河川の横断面の変化をたどる:大井川と安倍川の事例, ふじみュー文化祭 自然史しずおか祭 2023.
33. 川崎一雄, 久志勘太, 安江健一, 丹羽正和, 横山立憲 (2023) : Preliminary results of magnetostratigraphic investigations of the Kurehayama gravel formation in Toyama, Japan, 日本地球惑星科学連合 2023 年大会, HCG22-04.
34. King, G.E., Wen, X., Bartz, M., Anderson, L., Bossin, L., Tsukamoto, S., Li, Y., Herman, F., Ogata, M., Sueoka, S. (2023) : Will ESR thermochronometry reveal the timing of Rhône valley incision?, The General Assembly 2023 of the European Geosciences Union.
35. King, G.E., Wen, X., Bartz, M., Bossin, L., Tsukamoto, S., Li, Y., Herman, F., Ogata, M., Sueoka, S. (2023) : Borehole calibration of ESR thermochronometry, 17th International Luminescence and Electron Spin Resonance Dating conference.
36. 小嵐 淳, 安藤麻里子, Liang, N., 近藤俊明, 高木健太郎, 平野高司, 高木正博, 石田祐宣, 寺本宗正, 永野博彦, 市井和仁, 石塚成宏, 平舘俊太郎, 伊藤雅之, Sun, L., 國分陽子, 藤田奈津子 (2023) : 放射性炭素で見る土壌炭素動態, 第 70 回日本生態学会大会.
37. 工藤駿平, 河上哲生, 中嶋 徹, 酒井治孝 (2023) : Hairpin-shaped P-T path of the Higher Himalayan Crystalline nappe in Dhankuta, eastern Nepal, 日本地球惑星科学連合 2023 年大会.
38. Malatesta, L.C., Huppert, K.L., Sueoka, S., Asiedu, R., Finnegan, N., Weiß, N.-M. (2023) : The controls on marine terrace creation and preservation elucidated by 6000+ wave-cut platforms that capture the tectonics of the Japan arc, American Geophysical Union (AGU) Fall Meeting 2023.
39. Malatesta, L.C., Huppert, K.L., Weiß, N.M., Asiedu, R., Finnegan, N., Sueoka, S. (2023) : The distribution of 5000+ marine terraces in Japan provides insights on the role of uplift and wave power for their formation, GeoBerlin 2023.
40. 松永佳大, 相澤広記, 小川大輝, 宇津木充, 吉村令慧, 山崎健一, 内田和也 (2023) : 1997 年鹿児島県北西部地震震源域における広帯域 MT データの 1 次元解析, 日本地球惑星科学連合 2023 年大会.
41. Minami, S., Sueoka, S., Fukuda, S., Nagata, M., Kohn, B.P., Yokoyama, T., Kagami, S., Kawakami, T., Higashino, F., Abe, N., Nakajima, T., Kajita, Y., Tagami, T. (2023) :

Intrusion and cooling history of late Neogene granites in the Tanigawa-dake area, central Japan, revealed by geo-thermochronometry and Al-in-hornblende geobarometry, 18th International Conference on Thermochronology.

42. 南 沙樹, 末岡 茂, 福田将眞, Kohn, B.P., 河上哲生, 東野文子, 中嶋 徹, 工藤駿平, 梶田侑弥, 田上高広 (2023) : 熱年代学と地質圧力計に基づく谷川岳地域に分布する後期中新世一鮮新世花崗岩類の削剥史, ESR 応用計測研究会・ルミネッセンス年代測定研究会・フィッション・トラック研究会 2023 年度合同研究会.
43. 村上 理 (2023) : 能登半島群発地震の震源域周辺における S 波偏向異方性の時間変動, 日本地震学会 2023 年度秋季大会, S22-05.
44. 長田充弘 (2023) : Lu-Hf 同位体系からみたジルコン年代学, 日本地球惑星科学連合 2023 年大会, SCG51-P03.
45. 長田充弘, 福田将眞, 末岡 茂, 中嶋 徹, 横山立憲, Wall, C.J., 檀原 徹, 岩野英樹, 田上高広 (2023) : Potential of the young age reference materials: CA-ID-TIMS U-Pb dates of Cenozoic zircons in Japan, ESR 応用計測研究会・ルミネッセンス年代測定研究会・フィッション・トラック研究会 2023 年度合同研究会.
46. 中嶋 徹, 福田将眞, 仁木創太, 末岡 茂, 檀原 徹, 河上哲生, 田上高広 (2023) : 第四紀モナザイト試料のフィッション・トラックのエッチング, 日本地球惑星科学連合 2023 年大会, SCG54-P06.
47. 中嶋 徹, 福田将眞, 仁木創太, 末岡 茂, 檀原 徹, 田上高広 (2023) : 第四紀モナザイトのフィッション・トラック年代測定に向けた試み(速報), ESR 応用計測研究会・ルミネッセンス年代測定研究会・フィッション・トラック研究会 2022 年度合同研究会.
48. Nakajima, T., Kawakami, T., Iwano, H., Danhara, T., Sakai, H. (2023) : Denudation history constrained by thermochronological multi-inversion; An Example from the eastern Nepalese Himalaya, 18th International Conference on Thermochronology.
49. 中嶋 徹, 仁木創太, 工藤駿平, 河上哲生, 東野文子, 平田岳史, 酒井治孝 (2023) : ジルコン中のメルト・流体包有物に記録された複数の造山運動, 日本地質学会第 130 年学術大会, T2-O-1.
50. 西山成哲, 中嶋 徹, 後藤 翠, 箱岩寛晶, 長田充弘, 島田耕史, 丹羽正和 (2023) : 伏在する活断層の周辺地域における小断層を用いた応力逆解析の適用:1984 年長野県西部地震の震源地域における例, 日本地質学会第 130 年学術大会, T8-O-2.
51. 丹羽正和 (2023) : 地層処分分野における地質年代学・熱年代学の重要性:最近の関

連研究成果と今後の展開, 日本地球惑星科学連合 2023 年大会, SCG54-04.

52. Ogata, M., King, G.E., Herman, F., Yamada, R., Omura, K., Sueoka, S. (2023) : Reconstructing the thermal structure of shallow crust using OSL-thermometry of K-feldspar from deep borehole core: case studies in the Japanese Islands, 17th International Conference on Luminescence and Electron Spin Resonance Dating.
53. 小形 学, 小松哲也, 中西利典 (2023) : MIS5e 海成段丘堆積物の長石 OSL 年代測定: 紀伊半島における事例, 日本地球惑星科学連合 2023 年大会, SCG54-P03.
54. 小北康弘, 加藤丈典, 湯口貴史 (2023) : 北上山地, 遠野複合深成岩体に産出する石英のカソードルミネッセンスパターンとチタン濃度・アルミニウム濃度の定量分析, 日本鉱物科学会 2023 年年会.
55. 小北康弘, 三戸和紗, 坂田周平, 大野 剛, 鈴木哲士, 横山立憲, 長田充弘, 湯口貴史 (2023) : 北上山地, 遠野複合深成岩体に産出するジルコンの U-Pb 年代・Ti 濃度・Hf 同位体組成に基づくマグマ溜りプロセスの解明, ESR 応用計測研究会・ルミネッセンス年代測定研究会・フィッション・トラック研究会 2023 年度合同研究会.
56. 岡本 晃, 福田将眞, 末岡 茂, Kohn B.P., 田上高広 (2023) : 熱年代学に基づく四国山地の削剥史の推定, ESR 応用計測研究会・ルミネッセンス年代測定研究会・フィッション・トラック研究会 2022 年度合同研究会.
57. Sakamoto, M., Hakozaki, M., Fujita, N., Saito-Kokubu, Y. (2023) : AMS-14C measurement of 670-year-old giant Japanese cedar - 1871-2020 CE., 9th East Asia Accelerator Mass Spectrometry Symposium, EA-AMS9.
58. 佐藤大河, 安江健一, 谷川晋一, 三箇智二, 野原 壯, 島田耕史 (2023) : 土砂運搬作用を考慮した数値シミュレーションによる断層変位地形の再現, 日本活断層学会 2023 年度秋季学術大会.
59. 瀬能正太郎, 立石 良, 島田耕史, 岩森暁如, 小川昌也 (2023) : 福井県三方郡美浜町新庄地区における敦賀断層の第四紀後期の活動性, 日本活断層学会 2023 年度秋季学術大会.
60. 島田耕史, 竹内竜史, 尾松圭太, 照沢秀司, 上原康裕 (2023) : 高速増殖原型炉もんじゅ敷地内の花崗岩ボーリングコア試料の 1m 毎密度測定結果と岩級の関係, 日本地球惑星科学連合 2023 年大会, HCG21-P06.
61. Shimo, M., Niwa, M., Miyakawa, K., Yasue, K., Tonokura, K., Tokunaga, T., Biraud, S. (2023) : Identifying Pathways around Faults and Anticlinal Axis using Precise Trace Gas

Measurements: A Field Survey Example at Horonobe, Hokkaido, Japan, AGU Fall Meeting 2023, EP53C-1728.

62. Shimooka, K., Tani, K., Takahashi, T., Nagata, M., Saito, S. (2023) : Petrological study on the Cretaceous plutonic rocks in Kajishima, southwest Japan: an exposed gabbroic deep crust of Cretaceous continental margin of East Asia, Xth Hutton Symposium.
63. 下岡和也, 長田充弘, 小北康弘, 高橋俊郎, 谷健一郎, 齊藤 哲 (2023) : 西南日本愛媛県梶島に産する白亜紀深成岩に記録された白亜紀フレアアップ期の花崗岩質マグマ生成プロセス, 日本地質学会第 130 年学術大会, S1-O-4.
64. 下岡和也, 長田充弘, 小北康弘, 高橋俊郎, 谷健一郎, 齊藤 哲 (2023) : 愛媛県梶島における白亜紀花崗岩質マグマ生成プロセス, 第 23 回日本地質学会四国支部総会・講演会.
65. Sueoka, S., Kawakami, T., Suzuki, K., Kagami, S., Yokoyama, T., Shibazaki, B., Nagata, M., Yamazaki, A., Higashino, F., King, G.E., Tsukamoto, S., Herman, F., Tagami, T. (2023) : Extreme exhumation of the Pliocene-Pleistocene plutons along a high-geothermal zone in the Kurobe area, central Japan, revealed by Al-in-Hbl geobarometry and zircon U-Pb geochronometry, 18th International Conference on Thermochronology.
66. 末岡 茂 (2023) : 日本列島の若い山地における低温熱年代法の適用性, ESR 応用計測研究会・ルミネッセンス年代測定研究会・フィッション・トラック研究会 2023 年度合同研究会.
67. 末岡 茂, Kohn, B.P., 田上高広 (2023) : ジルコン(U-Th)/He 熱年代法に基づいた赤石山脈中部の削剥史の推定(速報), 日本地球惑星科学連合 2023 年大会, SCG54-P04.
68. 鈴木哲士, 浅井信夫, 中島和夫, 小北康弘, 横山立憲, 坂田周平, 大野 剛, 湯口貴史 (2023) : アダカイト質マグマの大陸地殻浅部への貫入・定置機構:北上山地, 堺ノ神深成岩体を例として, 日本鉱物科学会 2023 年年会.
69. 田村友識, 大橋聖和 (2023) : 地形・地質調査に基づいたひずみ集中帯における上部地殻の変形像:山陰ひずみ集中帯を例として, 日本地球惑星科学連合 2023 年大会.
70. Tanaka, K., Oohashi K., Muto, J., Oka, T., (2023) : Potential for ESR Signal Zeroing of the E1' center by Experimental Fault Slip, 17th International Luminescence and Electron Spin Resonance Dating conference.
71. 若尾尚幸, 本山 葵, 市來雅啓, 小川康雄, 上嶋 誠, 浅森浩一, 内田利弘, 長谷英彰, 小山崇夫, 坂中伸也, 山谷祐介, 相澤広記, 海田俊輝 (2023) : 東北地方南部の

広域地殻比抵抗構造探査(続報), 日本地球惑星科学連合 2023 年大会.

72. 若狭 幸, 石山達也, 廣内大助, 松多信尚, 藤田奈津子, 越後智雄 (2023) : 東北地方太平洋沿岸における更新世中期から後期の隆起した海成段丘の年代測定, European Geosciences Union General Assembly 2023.
73. Watanabe, N., Sato, H., Nishiyama, N., Furuya, G. (2023) : Key role of fossil seawater in Neogene sedimentary rocks for landslide occurrences in the northern part of central Japan, Proceedings of Scientific and Expert Conference Geo-Expo 2023.
74. Yamada, R., Takahashi, T. (2023) : Magmatic and crustal evolution of volcanic arcs through back-arc spreading: A case study of the opening of the Japan Sea, International Association for Gondwana Research 2023 Convention and 20th International Conference on Gondwana to Asia, P-31.
75. 山田来樹, 高橋俊郎, 長田充弘, 植田勇人 (2023) : 西南日本弧富山堆積盆で日本海拡大期に起きた漸新世～中新世火成活動の時間変遷, 日本地質学会第 130 年学術大会, T15-P-19.
76. 横井 悟, 下茂道人, 宮川和也, 丹羽正和, 松岡俊文, 徳永朋祥 (2023) : CRDS 微量ガス検知器の石油ガス探鉱への応用(その 2): 北海道幌延地域の石油地質的考察, 石油技術協会令和 5 年度春季講演会.
77. Zwingmann, H., 丹羽正和, Todd, A. (2023) : Deformation history of the Atera fault, central Japan, 日本地球惑星科学連合 2023 年大会, SGL21-P06.

(2022 年)

1. Balkanska, E., Kounov, A., Georgiev, S., Antić, M., Tagami, T., Sueoka, S. and Wijbrans, J. (2022) : Thermochronological evolution of the Plovdiv pluton, Bulgaria, XII International Congress of the Carpathian-Balkan Geological Association.
2. Bartz, M, King, G.E., Anderson, L.S., Herman, F., Sueoka, S., Tsukamoto, S. and Tagami, T. (2022) : Rates of erosion in the Japanese Alps during the Quaternary – Insights from trapped charge thermochronometry, The General Assembly 2022 of the European Geosciences Union (EGU).
3. Bartz, M, King, G.E., Anderson, L.S., Herman, F., Sueoka, S., Tsukamoto, S. and Tagami, T. (2022) : Unravelling rock cooling histories of the Japanese Alps using trapped-charge thermochronometry, Quaternaire 13 Meeting.

4. 藤田奈津子, 三宅正恭, 松原章浩, 石井正博, 渡邊隆広, 神野智史, 西尾智博, 小川由美, 山本悠介, 木村健二, 島田顕臣, 石丸恒存 (2022): JAEA-AMS-TONO の現状 (令和 4 年度), 第 23 回 AMS シンポジウム(JAMS-23).
5. 福田将眞, 鏡味沙耶 (2022): (U-Th)/He 法のための高温加圧酸分解によるジルコンの完全溶解の試み, ESR 応用計測研究会・ルミネッセンス年代測定研究会・日本フィッション・トラック研究会 2021 年度合同研究会.
6. 福田将眞, 鏡味沙耶(2022): (U-Th)/He 法に係る湿式分析法の検討:検量線法による親核種濃度の定量の試み, ESR 応用計測研究会・ルミネッセンス年代測定研究会・フィッション・トラック研究会 2022 年度合同研究会.
7. 福田将眞, Kohn B.P., 末岡 茂, 檀原 徹, 岩野英樹, 田上高広 (2022): ジルコン (U-Th)/He 法の年代標準試料の探求(続報):複数のジルコン試料における年代学的検討, ESR 応用計測研究会・ルミネッセンス年代測定研究会・フィッション・トラック研究会 2021 年度合同研究会.
8. 福田将眞, 末岡 茂, 田上高広(2022): 低温領域の熱年代学に基づく長期間(>106 年)スケールにおける鉛直方向の変動の推定:島弧地域における現状と今後の展開, 日本地球惑星科学連合 2022 年大会, SCG52-20.
9. 久志勘太, 川崎一雄, 安江健一, 丹羽正和, 横山立憲 (2022): 古地磁気学の手法を用いた富山県東部呉羽山礫層の予察的結果, 日本活断層学会 2022 年度秋季学術大会.
10. Ishikawa Norito, Shoma Fukuda, Toru Nakajima, Hiroaki Ogawa, Tomitsugu Taguchi (2022): Nanostructure of zirconia-based oxides irradiated with swift heavy ions, The 32nd Annual Meeting of MRS-J.
11. Ishikawa Norito, Shoma Fukuda, Toru Nakajima, Hiroaki Ogawa, Tomitsugu Taguchi (2022): Nanostructure of ceramics irradiated with swift heavy ions, TEM study, 第 23 回「イオンビームによる表面・界面の解析と改質」特別研究会.
12. 岩森暁如, 小北康弘, 島田耕史, 立石 良, 高木秀雄, 太田 亨, 菅野瑞穂, 和田伸也, 大野顕大, 大塚良治 (2022): 風化度指標 W 値を用いた江若花崗岩中の断層岩の諸特性, 日本地質学会第 129 年学術大会.
13. 岩野英樹, 酒井治孝, 檀原 徹, 中嶋 徹, 平田岳史 (2022): Fission-track data from the Mount Everest massif: Sigmoidal cooling profiles since 15 Ma, 日本地球惑星科学連合 2022 年大会, SCG42-P06.



14. 神野智史, 藤田奈津子, 田沼肇 (2022) : 塩素-36 年代測定における同重体干渉抑制のためのイオンファネル反応セルの開発, 第 23 回 AMS シンポジウム(JAMS-23).
15. 神野智史, 藤田奈津子, 田沼肇 (2022) : 同重体干渉抑制のためのイオンファネル反応セルの開発, 2022 年第 83 回応用物理学会秋季学術講演会.
16. 神野智史, 松原章浩, 藤田奈津子, 木村健二 (2022) : AMS 装置小型化のための表面ストリッパーその場評価法の開発, 2022 年第 69 回応用物理学会春季学術講演会.
17. 神野智史, 松原章浩, 藤田奈津子, 木村健二 (2022) : 超小型 AMS 開発の現状, 2023 年第 70 回応用物理学会春季学術講演会.
18. 鏡味沙耶, 横山立憲, 笹尾英嗣 湯口貴史, 常青 (2022) : 起源マグマの化学組成の制約に向けた LA-ICP-MS によるアパタイトの局所 Sr 同位体分析手法の開発, 日本地球化学会.
19. 梶田侑弥, 末岡 茂, 福田将眞, 田上高広 (2022) : 北上山地における熱年代学データの解釈, ESR 応用計測研究会・ルミネッセンス年代測定研究会・フィッション・トラック研究会 2021 年度合同研究会.
20. 梶田侑弥, 末岡 茂, 福田将眞, 田上高広 (2022) 北上山地における熱年代学データの解釈, 日本地球惑星科学連合 2022 年大会, SCG42-P04.
21. 川村 淳, 賈 華, 小泉由起子, 丹羽正和, 梅田浩司 (2022) : 火山岩岩脈分布に関するデータ収集及び予察的な解析(続報), 日本地質学会第 129 年学術大会, G3-O-10.
22. 川村 淳, 西山成哲, 丹羽正和, 梅田浩司 (2022) : 火山・火成活動の発生に係る評価技術の高度化ーマグマの影響範囲を把握するための技術の高度化への取り組みについてー, 日本原子力学会 2022 年秋の大会, 3C07.
23. 川崎 一雄, 安江 健一, 丹羽 正和, 横山 立憲 (2022) : Preliminary paleomagnetic results of conglomerates of the Toki Sand and Gravel Formation and the Kurehayama Gravel Formation, 地球惑星科学連合 2022 年大会, SGL23-P02.
24. King, G.E., Bartz, M., Bossin, L., Wen, X., Tsukamoto, S., Herman, F., Ogata, M. and Sueoka, S. (2022) : Working towards a robust thermochronometer based on the ESR of quartz minerals, UK Luminescence and Electron Spin Resonance Dating Meeting 2022.
25. King, G.E., Ahadi, F., Sueoka, S., Herman, F., Anderson, L., Gautheron, C., Tsukamoto, S., Stalder, N., Biswas, R., Fox, M., Delpech, G., Schwarz, S. and Tagami, T. (2022) : Eustatic change modulates exhumation in the Japanese Alps, The General Assembly 2022 of the European Geosciences Union (EGU).

26. 國分(齋藤)陽子, 箱崎真隆, 坂本 稔, Li, Z., 中塚 武, 藤田奈津子 (2022) : 岐阜県瑞浪市大湫町神明神社御神木を用いた炭素 14 年代較正曲線の整備; 御神木の年代調査, 日本放射化学会第 66 回討論会.
27. 工藤駿平, 河上哲生, 中嶋 徹, 酒井治孝 (2022) : Metamorphic zone mapping and P-T path of the Higher Himalayan Crystalline nappe in Dhankuta, Eastern Nepal, 日本地球惑星科学連合 2022 年大会, SMP27-06.
28. 益木悠馬, 勝田長貴, 丹羽正和, 内藤さゆり, 由水千景, 陀安一郎 (2022) : 安定同位体分析による姉川せき止め湖堆積物のヒ素の起源推定, 地球惑星科学連合 2022 年大会, HTT18-09.
29. 松原章浩, 藤田奈津子, 三宅正恭, 石井正博, 渡邊隆広, 國分(齋藤)陽子, 西尾智博, 小川由美, 神野智史, 木村健二, 島田顕臣, 石丸恒存 (2022) : JAEA-AMS-TONO の現状(2021 年度), 第 34 回タンデム加速器及びその周辺技術の研究会.
30. 南 沙樹, 末岡 茂, 福田将眞, 長田充弘, Kohn B.P., 横山立憲, 鏡味沙耶, 梶田侑弥, 田上高広 (2022) : 熱年代学的手法に基づく谷川岳地域の熱史・削剥史の推定, ESR 応用計測研究会・ルミネッセンス年代測定研究会・フィッション・トラック研究会 2021 年度合同研究会.
31. 南 沙樹, 末岡 茂, 福田将眞, 長田充弘, Kohn B.P., 横山立憲, 鏡味沙耶, 梶田侑弥, 田上高広 (2022) : Thermal/denudation histories in the Tanigawa-dake region based on multi-thermochronometries, 日本地球惑星科学連合 2022 年大会, SCG42-P03.
32. 村上 理 (2022) : 能登半島群発地震の震源域周辺における S 波偏向異方性, 日本地震学会 2022 年度秋季大会, S13-03.
33. 長田充弘, 福田将眞, 末岡 茂, 中嶋 徹, 梶田侑弥, 南 沙樹, 岡本 晃, 田上高広 (2022) : 照来層群歌長流紋岩から得られたジルコン U-Pb 年代, ESR 応用計測研究会・ルミネッセンス年代測定研究会・フィッション・トラック研究会 2021 年度合同研究会.
34. 長田充弘, 中嶋 徹, 福田将眞, 末岡 茂, 八木公史, 横山立憲 (2022) 熱史からみたジルコンの標準試料への適性評価: 石川県鷲走ヶ岳層の例, ESR 応用計測研究会・ルミネッセンス年代測定研究会・フィッション・トラック研究会 2022 年度合同研究会.
35. 中嶋 徹, 福田将眞, 長田充弘, 檀原 徹, 岩野英樹, 末岡 茂 (2022) : バデリアイトのフィッション・トラック年代測定に向けて: エッチング実験の結果とその考察, ESR 応用計測研究会・ルミネッセンス年代測定研究会・フィッション・トラック研究会 2021 年度合同研究会.

36. 中嶋 徹, 長田充弘, 小北康弘, 福田将眞, 末岡 茂 (2022) : Al-in-Hbl 地質圧力計を用いた削剥史の制約: 太平山複合プルトンへの適用, ESR 応用計測研究会・ルミネッセンス年代測定研究会・フィッション・トラック研究会 2021 年度合同研究会.
37. 中嶋 徹, 末岡 茂, 長田充弘, Kohn B.P., Ramos N.T., 堤 浩之, 田上高広(2022) : フィリピンルソン島中央コルディエラ山地の削剥史の地質; 熱年代学的予備研究, 日本地球惑星科学連合 2022 年大会, SCG42-P05.
38. Nara, F.W., Watanabe, T., Lougheed, B., and Obrochta, S. (2022) : Updated radiocarbon age-depth model from Lake Baikal sediment: Implication for past hydrological changes for the last glacial to the Holocene, 24th Radiocarbon Conference.
39. 西尾学, 鏡味沙耶, 横山立憲, 苅谷愛彦, 小嶋 智 (2022) : 焼岳中尾テフラ; 北アルプス南部における完新世後期の年代指標としての有用性の検討, 日本地球惑星科学連合 2022 年大会, HDS11-P01.
40. 西山成哲, 川村 淳, 梅田浩司, 後藤 翠, 丹羽正和 (2022) : 等高線の形状解析による第四紀火山の岩脈分布のモデル化および火道安定性評価の検討, 日本地球惑星科学連合 2022 年大会, HCG24-01.
41. 西山成哲, 中嶋 徹, 後藤 翠, 箱岩寛晶, 末岡 茂, 島田耕史, 丹羽正和 (2022) : 活断層地形が不明瞭な地域における小断層の応力逆解析: 1984 年長野県西部地震の震源周辺地域における例, 日本活断層学会 2022 年度秋季学術大会, P-5.
42. 小形 学, King G.E., Herman F., 末岡 茂 (2022) : 大深度ボーリングコアを利用した multi-OSL 熱年代法による地殻浅部の古地温構造の復元: 東濃地域における事例, ESR 応用計測研究会・ルミネッセンス年代測定研究会・フィッション・トラック研究会 2021 年度合同研究会.
43. 小形 学, 塚原柚子, 川村 淳, 菅野瑞穂, 西山成哲, 末岡 茂, 小松哲也, 中西利典, 安江健一(2022) : 長石の OSL 年代測定による離水時期の推定: 能登半島と大井川の事例, 日本地球惑星科学連合 2022 年大会, SCG42-P07.
44. 小形 学, King, G.E., Herman, F., 末岡 茂 (2022) : 大深度ボーリングコアを用いたカリ長石の multi-OSL 熱年代法による東濃地域の地殻浅部の古地温構造復元, ESR 応用計測研究会・ルミネッセンス年代測定研究会・フィッション・トラック研究会 2022 年度合同研究会.
45. 小川大輝, 平塚晋也, 浅森浩一, 島田耕史 (2022) : 宮崎平野及びその周辺における S 波偏向異方性の推定, 日本地球惑星科学連合 2022 年大会, SSS08-P03.

46. 岡本 晃, 福田将眞, 新正裕尚, 末岡 茂, 鏡味沙耶, 田上高広 (2022) : 四国山地における中新世花崗岩類のアパタイトフィッション・トラック年代速報, ESR 応用計測研究会・ルミネッセンス年代測定研究会・フィッション・トラック研究会 2021 年度合同研究会.
47. 大澤英昭, 石丸恒存, 島田耕史, 末岡 茂 (2022) : 放射性廃棄処分と地質環境, 日本原子力学会ウェビナー「放射性廃棄物の管理」.
48. 下茂 道人, 丹羽 正和, 宮川 和也, 戸野倉 賢一, 徳永 朋祥 (2022) : 高精度メタン測定技術による断層・褶曲軸周辺のガス移動経路の特定, 地球惑星科学連合 2022 年大会, AGE30-01.
49. 末岡 茂, 岩野英樹, 檀原 徹, 岡本 晃, 田上高広 (2022) : 低温熱年代学に基づくスラブ起源流体活動に伴う熱異常検出の試み, ESR 応用計測研究会・ルミネッセンス年代測定研究会・フィッション・トラック研究会 2021 年度合同研究会.
50. 末岡 茂, 河上哲生, 鈴木康太, 鏡味沙耶, 横山立憲, 長田充弘, 山崎あゆ, 東野文子, King G.E., 塚本すみ子, Herman F., 田上高広 (2022) : 鮮新世～第四紀花崗岩類の形成深度・年代に基づく飛驒山脈黒部地域の削剥史と隆起メカニズム, 日本地球惑星科学連合 2022 年大会, SCG42-P02.
51. 末岡 茂, 河上哲生, 鈴木康太, 鏡味沙耶, 横山立憲, 芝崎文一郎, 長田充弘, 山崎あゆ, 東野文子, King Georgina E, 塚本すみ子, Herman Frédéric, 田上高広 (2022) 鮮新世～第四紀深成岩体の固結年代・深度に基づいた飛驒山脈黒部地域の削剥史, ESR 応用計測研究会・ルミネッセンス年代測定研究会・フィッション・トラック研究会 2022 年度合同研究会.
52. 鈴木彩世, 長田充弘, 中嶋 徹, 福田将眞, 末岡 茂, 田上高広 (2022) フィッション・トラック年代測定に向けたモナザイトの鉍物分離法の検討, ESR 応用計測研究会・ルミネッセンス年代測定研究会・フィッション・トラック研究会 2022 年度合同研究会.
53. 鈴木康太, 河上哲生, 末岡 茂, 山崎あゆ, 鏡味沙耶, 横山立憲, 田上高広 (2022) : Solidification pressures and ages recorded in mafic microgranular enclaves in the Kurobegawa Granite, 日本地球惑星科学連合 2022 年大会, SCG47-P04.
54. Tagami, T. and Sueoka, S. (2022) : Thermochronological investigations of orogenic belts, XII International Congress of the Carpathian-Balkan Geological Association.
55. 塚原柚子, 小形 学, 川村 淳, 菅野瑞穂, 西山成哲, 末岡 茂, 中西利典, 小松哲也 (2022) : 穿入蛇行河川の旧流路地形・堆積物に基づく下刻速度の推定: 赤石山脈南部, 大井川の事例, 日本第四紀学会 2022 年大会.

56. 横井 悟, 下茂道人, 宮川和也, 丹羽正和, 松岡俊文, 徳永朋祥 (2022): CRDS 微量ガス検知器の石油ガス探鉱への応用 ～ 予察的探鉱のすすめ, 石油技術協会令和 4 年度春季講演会.
57. 湯口貴史, 伊藤大智, 横山立憲, 坂田周平, 鈴木哲士, 小北康弘, 八木公史, 井村匠, 甕聡子, 大野剛 (2022): 三次元的なカソードルミネッセンスパターンと U-Pb 年代, チタン濃度, Th/U 比から推定する花崗岩中のジルコン成長プロセス; 大崩山花崗岩体を用いたアプローチ, 日本鉱物科学会 2022 年年会.
58. 渡部 豪, 平塚晋也, 島田耕史 (2022): 福島県いわき地方を対象とした S 波スプリッティング解析(続報). 日本地震学会 2022 年度秋季大会, S13-02.

(2021 年)

1. Anderson, L.A., Bartz, M., King, G.E., Fox, M., Herman, F., Stalder, S., Biswas, R., Sueoka, S., Tsukamoto, S., Ahadi, F., Gautheron, C., Delpech, G., Schwarz, S., and Tagami, T. (2021): Using a 3-D heat transport model (PeCUBE) to invert OSL- and ESR-derived rock cooling histories into erosion rate changes in the Hida Range of Japan, 16th International Luminescence and Electron Spin Resonance Dating conference (LED2021).
2. Balkanska, E., Georgiev, S., Kounov, A., Peytcheva, I., Tagami, T., and Sueoka, S. (2021): Timing and rate of exhumation of Central Sredna Gora Zone basement, Bulgaria, European Geosciences Union General Assembly 2021 (vEGU21: Gather Online).
3. Bartz, M, King, G.E., Anderson, L.S., Herman, F., Sueoka, S., Tsukamoto, S., Ahadi, F., Gautheron, C., Delpech, G., Schwarz, S. and Tagami, T. (2021): Unravelling rock cooling histories of the Japanese Alps using ESR thermochronometry, German Luminescence and Electron-Spin-Resonance Dating Meeting 2021 (DLED2021), Loccum, Germany, 29-31 October 2021.
4. 陳 翔羽, 近松謙太郎, 長田充弘, 横山立憲, 鏡味沙耶, 山本鋼志, 大藤 茂 (2021) 西南日本, 美濃帯北部付加体の前期～中期ジュラ紀砂岩の後背地. 日本地球惑星科学連合 2021 年大会, SGL22-P06.
5. Fujita, N., Matsubara, A., Kimura, K. and Saito-Kokubu, Y. (2021): Project for Development of a Downsized AMS System based on the Surface Stripper Technique, The 15th International Conference on Accelerator Mass Spectrometry.
6. Fujita, N., Miyake, M., Matsubara, A., Saito-Kokubu, Y., Columna, E.L., Klein, M.,

- Scognamiglio, G., Mous, D.J.W., Shimada, A. and Ishimaru, T. (2021) : The New 300 kV multi-nuclide AMS system at the Tono Geoscience Center, Japan Atomic Energy Agency, The 15th International Conference on Accelerator Mass Spectrometry.
7. 藤田奈津子, 松原章浩, 三宅正恭, 渡邊隆広, 國分陽子, 西尾智博, 小川由美, 加藤元久, 島田顕臣, 尾方伸久(2021):JAEA-AMS-TONO の現状; 2019-2020 年度, 第 33 回タンデム加速器及びその周辺技術の研究会.
  8. 藤田奈津子, 松原章浩, 三宅正恭, 西尾智博, 小川由美, 國分(齋藤)陽子 (2021): JAEA-AMS-TONO-5MV における塩素-36AMS 測定技術開発, 2021 年第 68 回応用物理学会春季学術講演会.
  9. 藤田奈津子, 松原章浩, 三宅正恭, 西尾智博, 小川由美, 木村健二, 渡邊隆広, 國分陽子, 島田顕臣(2021):JAEA-AMS-TONO における加速器質量分析装置に関する研究開発; 2020 年度, 2021 年第 82 回応用物理学会秋季学術講演会.
  10. Fukuda, S., Kohn, B.P., Sueoka, S., Kagami, S., Kajita, Y., Okamoto, A., and Tagami, T. (2021) : Zircon (U-Th)/He dating for the Pliocene Utaosa rhyolite in Japan: toward an age standard of zircon, 17th International Conference on Thermochronology.
  11. 福田将眞, 末岡 茂, 梶田侑弥, 鏡味沙耶, 横山立憲, 田上高広 (2021): 火山弧の隆起形態の推定を目指して:奥羽脊梁山地北部におけるアパタイトフィッション・トラック法の適用, 日本地球惑星科学連合 2021 年大会, SCG47-03.
  12. 福田将眞, 末岡 茂, 菅野瑞穂, Kohn B.P., 田上高広 (2021): ジルコン(U-Th)/He 法の年代標準試料の探求:仁左平サイトにおける年代学的検討, ESR 応用計測研究会・ルミネッセンス年代測定研究会・日本フィッション・トラック研究会 2020 年合同研究会.
  13. 福田将眞, 末岡茂, 田上高広 (2021): 島弧山地における低温領域の熱年代学の現状と展望, 東大地震研究所特定共同研究(B)「プレートの沈み込みと島弧変動のダイナミクス」研究集会.
  14. 日浦 祐樹, 川村 淳, 梅田 浩司, 丹羽 正和:第四紀火山を対象とした GIS を用いた地形解析による放射状岩脈のモデル化の検討, 日本地球惑星科学連合 2021 年大会 HCG23-P01
  15. 五十嵐雄大, Uyangaa Udaanjargal, 國分陽子, 渡邊隆広, 長谷川精, Niiden Ichinnorov, 勝田長貴, Davaadorj Davaasuren, 長谷部徳子 (2021): モンゴル Valley of the Gobi Lakes における第四紀後期堆積物の OSL と放射性炭素年代測定とハンガイ山脈における氷河後退への示唆, ESR 応用計測研究会・ルミネッセンス年代測定研究会・フィッション・トラック研究会 2020 年度合同研究会.

16. 石原 隆仙, 細矢卓志, 植木忠正, 小形 学 (2021): 光ルミネッセンス(OSL)年代測定試料採取のためのボーリング調査事例, 技術フォーラム 2021 Web 技術発表会.
17. 鏡味沙耶 (2021): ベスタの熱史解明に向けた玄武岩質ユークライトの年代学的研究, 2020 年度「惑星物質科学のフロンティア」研究会.
18. 鏡味沙耶, 横山立憲, 常青, 湯口貴史, 笹尾英嗣 (2021): LA-ICP-MS によるアパタイトの Sr 同位体分析技術の開発, 第 18 回同位体科学研究会.
19. 梶田侑弥, 末岡 茂, 福田将眞, 横山立憲, 鏡味沙耶, 長田充弘, Kohn B.P., 田上高広 (2021): 北上山地における白亜紀以降の隆起・削剥史の熱年代学的検討, 日本地球惑星科学連合 2021 年大会, SCG47-P02.
20. 梶田侑弥, 末岡 茂, 福田将眞, 横山立憲, 鏡味沙耶, 長田充弘, 田上高広 (2021): アパタイトフィッシュン・トラック法を用いた白亜紀以降の北上山地の削剥史の熱年代学的検討, ESR 応用計測研究会・ルミネッセンス年代測定研究会・日本フィッシュン・トラック研究会 2020 年合同研究会.
21. 菅野瑞穂, 丹羽正和, 島田耕司, 立石 良(2021): 断層ガウジに含まれる交換性陽イオンと全岩化学組成の関係, 日本活断層学会 2021 年度秋季学術大会.
22. 川村淳, 賈華, 小泉由起子, 丹羽正和, 梅田浩司, 2021: 火山岩岩脈分布に関するデータ収集及び予察的な解析. 日本地質学会第 128 年学術大会, R23-P-1.
23. 小嵐 淳, 安藤麻里子, 高木健太郎, 近藤俊明, 寺本宗正, 永野博彦, 國分陽子, 高木正博, 石田祐宣, 市井和仁, 山貫緋称, 梁乃申 (2021): 微生物呼吸とその温暖化応答を土壤有機炭素特性から推定できるか? 第 68 回日本生態学会大会.
24. 益木悠馬, 勝田長貴, 丹羽正和, 由水千景, 陀安一郎 (2021): 姉川古堰止湖堆積物の安定同位体分析に基づく古環境変動解析, 第 11 回同位体環境学シンポジウム.
25. 松原章浩, 藤田奈津子, 木村健二 (2021): 超小型 AMS 装置における  $^{14}\text{C}$  検出用の比例計数管の設計, 2021 年第 68 回応用物理学会春季学術講演会.
26. 南 沙樹, 末岡 茂, Kohn B.P., 福田将眞, 梶田侑弥, 小北康弘, 田上高広 (2021): (U-Th)/He 熱年代学に基づく谷川岳地域の隆起・削剥史の推定, 日本地球惑星科学連合 2021 年大会, SCG47-P03.
27. 南 沙樹, 長田充弘, 末岡 茂, 福田将眞, 梶田侑弥, 小北康弘, 鏡味沙耶, 横山立憲, 田上高広 (2021): ジルコン U-Pb 年代測定を用いた谷川岳地域に露出する中新世～鮮新世花崗閃緑岩の貫入年代の推定, ESR 応用計測研究会・ルミネッセンス年代測定研究会・日本フィッシュン・トラック研究会 2020 年合同研究会.

28. 宮本 樹, 須貝俊彦, 小松哲也, 中西利典, 丹羽雄一, 日浦祐樹 (2021): 関東平野中央部における最終間氷期海成層の高度分布, 2021 年度日本地理学会春季学術大会.
29. 宮田和周, 酒井佑輔, 中山健太郎, 中田健太郎, 藺田哲平, 長田充弘 (2021): 福井県大野市の手取層群伊月層から新発見の“三錐歯類”(哺乳類)化石とトリティロドン類(非哺乳類キノドン類)の新標本, 日本古生物学会第 170 回例会, A19, 20.
30. 村上 理, 渡部 豪 (2021): S 波スプリッティング解析による御嶽山周辺の異方性構造, 日本地震学会 2021 度秋季大会, S13P-02.
31. 長田充弘, 福田将眞, 末岡 茂, 横山立憲, 鏡味沙耶, 仁木創太, 岩野英樹, 檀原徹, 小北康弘, 梶田侑弥, 南 沙樹, 久保見 幸, 大藤 茂, 平田岳史, 田上高広 (2021): ジルコンのマルチ年代スタンダードの可能性: 東北日本仁左平層の予察分析, 日本地球惑星科学連合 2021 年大会, SGL22-P04.
32. 中嶋 徹, 河上哲生, 岩野英樹, 檀原 徹, 酒井治孝 (2021): Denudation process of high-grade metamorphic nappe in eastern Nepal constrained by thermochronological inverse analysis. 日本地球惑星科学連合 2021 年大会, SCG47-P02.
33. Nakajima, T., Kawakami, T., Iwano, H., Danhara, T., and Sakai, H., (2021): Denudation history of the Eastern Nepalese Himalaya: constrained by thermochronological methods, 17th International Conference on Thermochronology.
34. 西山成哲, 川村 淳, 梅田浩司, 後藤 翠, 丹羽正和 (2021): GIS ソフトウェアを用いた地形解析による第四紀火山の火道および放射状岩脈のモデル化の検討, 令和 3 年度日本応用地質学会研究発表会.
35. 丹羽正和, 島田耕史, 渡部 豪, 後藤 翠, 平塚晋也 (2021): 測地・地形・地質の統合的アプローチによるひずみ集中帯における地殻の変形の可視化: 南九州せん断帯における事例: 日本地球惑星科学連合 2021 年大会, SCG50-04.
36. 野田 篤, 宮崎一博, 水野清秀, 長田充弘 (2021). 5 万分の 1 地質図幅「池田」の出版. 日本地球惑星科学連合 2021 年大会, SGL23-P04.
37. 小形 学, King G.E., Herman F., 末岡 茂, 山田隆二, 小村健太郎 (2021): 大深度ボーリングコアを利用した光ルミネッセンス熱年代法による 10 万年スケールの熱履歴推定: 六甲山地の事例, 日本地球惑星科学連合 2021 年大会, SCG47-04.
38. Ogata, M., King, G.E., Herman, F., Yamada, R., Omura, K., and Sueoka, S. (2021): Multi-OSL-thermochronometry using deep borehole core for thermal history over 0.1 Myr in Rokko Mountains, 17th International Conference on Thermochronology.



39. 小北康弘, 三戸和紗, 石橋 梢, 坂田周平, 大野 剛, 鈴木哲士, 横山立憲, 鏡味沙耶, 長田充弘, 湯口貴史 (2021). 北上山地, 遠野複合深成岩体の貫入・定置プロセス: ジルコンの U-Pb 年代・Ti 濃度同時分析と Hf 同位体分析からの制約. 日本地球惑星科学連合 2021 年大会, SCG44-P01.
40. 大藤 茂, 長田充弘, 青山正嗣, 原田拓也, 久保見 幸, 坂東晃紀, 杉山 潤, A.V. Kudymov, M. V. Arkhipov, A. N. Didenko (2021). ロシア沿海地方ケマ帯の下部白亜系. 日本地質学会第 128 年学術大会, R5-P-8.
41. Saito-Kokubu, Y., Fujita, N., Watanabe, T., Matsubara, A., Ishizaka, C., Miyake, M., Nishio, T., Kato, M., Ogawa, Y., Ishii, M., Kimura, K., Shimada, A. and Ogata, N. (2021) : Status report of JAEA-AMS-TONO: research and technical development in the last four years, The 15th International Conference on Accelerator Mass Spectrometry.
42. Sueoka, S., Kobayashi, Y., Fukuda, S., Kohn, B.P., Yokoyama, T., Sano, N., Hasebe, N., Tamura, A., Morishita, T., and Tagami, T. (2021) : Low-temperature thermochronology of the Izu collision zone, central Japan: Implications for mountain building at an active arc-arc collision zone, 17th International Conference on Thermochronology.
43. 末岡 茂, 小松哲也, 日浦祐樹 (2021) : 複数時間スケールの削剥速度データに基づいた日本列島の山地発達段階の分類, 日本地球惑星科学連合 2021 年大会, SCG47-P01.
44. 末岡 茂, 河上哲生, 鈴木康太, 山崎あゆ, 鏡味沙耶, 長田充弘, 横山立憲, 田上高広 (2021) : 鮮新世~第四紀花崗岩類の形成深度・年代に基づく飛騨山脈黒部地域の削剥史(速報), 日本地球惑星科学連合 2021 年大会, SCG47-P04.
45. 立石 良, 島田耕史, 丹羽正和, 末岡 茂, 清水麻由子, 菅野瑞穂, 石井千佳子, 石丸恒存 (2021) : 断層の活動性と断層ガウジの化学組成の関係: 線形判別分析による試み, 日本地球惑星科学連合 2021 年大会, SSS10-P01.
46. 塚原柚子, 菅野瑞穂, 後藤翠, 藤田奈津子, 小松哲也, 前杵英明 (2021) : 潮間帯化石群体の 14C 年代測定に基づく地殻変動履歴の復元: 土佐湾東岸部, 羽根岬の事例, 日本活断層学会 2021 年度秋季学術大会.
47. 若狭 幸, 石山達也, 廣内大助, 松多信尚, 藤田奈津子, 越後智雄(2021) : 三陸海岸における宇宙線生成核種濃度測定による海成段丘面の露出年代値の推定, 日本地球惑星科学連合 2021 年大会.
48. Watanabe Nara, F., Watanabe, T., Saito-Kokubu, Y., Horiuchi, K. and Zhu, L. (2021) :  $^{10}\text{Be}$  analysis of the rock samples from the lake terrace of a high-altitude lake (Pumoyum

Co, south Tibetan Plateau), The 15th International Conference on Accelerator Mass Spectrometry.

49. 渡部 豪, 平塚晋也, 島田耕史 (2021) : 福島県いわき地方を対象とした S 波スプリッティング解析, 日本地震学会 2021 度秋季大会, S13P-01.
50. 渡部 豪, 浅森浩一, 島田顕臣, 雑賀 敦, 小川大輝, 梅田浩司, 後藤 翠, 島田耕史, 石丸恒存 (2021) : 南九州せん断帯における GNSS 観測(第 5 報), 日本地球惑星科学連合 2021 年大会, SCG50-P04.

(2020 年)

1. 藤田奈津子, 松原章浩, 木村健二, 國分(齋藤)陽子 (2020) : 1 m×1 m 級を目指した超小型 14C-AMS の開発, 2020 年第 67 回応用物理学会春季学術講演会.
2. 藤田奈津子, 松原章浩, 三宅正恭, 岡部宣章, 西尾智博, 木村健二, 渡邊隆広, 國分(齋藤)陽子 (2020) : JAEA-AMS-TONO における加速器質量分析装置に関する研究開発, (第 81 回)応用物理学会秋季学術講演会.
3. 福田将真, 末岡 茂, 梶田侑弥, 長谷部徳子, 田村明弘, 森下知晃, 田上高広 (2020) : 東北日本弧北部における白亜紀花崗岩類の AFT 熱年代学:熱史逆解析に基づく熱史・削剥史の推定, JpGU-AGU Joint Meeting 2020, SCG59-P02.
4. 後藤 翠, 島田耕史, 丹羽正和, 照沢秀司 (2020) : Visualization of a high-strain shear zone based on a field survey for minor faults: A case study of southern Kyushu, Japan. JpGU-AGU Joint Meeting 2020, SGL33-P10.
5. 平塚晋也, 浅森浩一, 雑賀 敦 (2020) : S 波スプリッティング解析を用いたスラブ起源流体の移行経路推定の試み, JpGU-AGU Joint Meeting 2020, SSS11-P02.
6. 廣内大助, 松多信尚, 石山達也, 安江健一, 杉戸信彦, 竹下欣宏, 藤田奈津子, 澤祥, 水谷光太郎, 谷口 薫 (2020) : トレンチ掘削調査に基づく糸魚川-静岡構造線神城断層の活動時期, JpGU-AGU Joint Meeting 2020, SSS16-P04.
7. 日浦祐樹, 小松哲也, 末岡 茂, 喜多村 陽, 三箇智二 (2020) : 日本列島における数百年～数千年スケールの侵食速度分布図, JpGU-AGU Joint Meeting 2020, HCG28-P04.
8. 石橋 梢, 坂田周平, 横山立憲, 伊藤大智, 小北康弘, 八木公史, 大野剛, 湯口貴史 (2020) : ジルコンの U-Pb 年代とチタン濃度の同時取得: 黒部川花崗岩体, 土岐花崗岩体, 遠野複合深成岩体を用いたアプローチ, 日本鉱物科学会 2020 年オンライン年会.

9. 伊藤大智, 石橋 梢, 坂田周平, 横山立憲, 小北康弘, 八木公史, 大野 剛, 湯口貴史 (2020): ジルコン U-Pb 年代とチタン濃度の同時定量分析: 大崩山花崗岩体への適用, 日本鉱物科学会 2020 年オンライン年会.
10. 岩沢冴子, 中村耕佑, 安江健一, 立石 良, 寺門隆治, 楮原京子, 丹羽正和, 黒澤英樹 (2020): 太江断層西端付近における断層分布と変位速度, 日本活断層学会 2020 年度秋季学術大会, P-4.
11. Kagami, S., Yokoyama, T. and Umeda, K. (2020) : An analytical technique of trace elements using LA-ICP-MS for tephra identification, Goldschmidt 2020.
12. 梶田侑弥, 末岡 茂, 福田将眞, 長谷部徳子, 田村明弘, 森下知晃, Kohn, B.P., 田上高広 (2020): 熱年代学を用いた北上・阿武隈山地における熱史と削剥史の推定, JpGU-AGU Joint Meeting 2020, SCG59-P01.
13. 川村 淳, 石丸恒存, 丹羽正和, 小松哲也 (2020): 高レベル放射性廃棄物地層処分に係る自然現象の事例研究から影響評価までの体系化の検討, JpGU-AGU Joint Meeting 2020, HCG28-P02.
14. 木森大我, 須貝俊彦, 宮本 樹, 小松哲也, 中西利典 (2020): 関東平野中北部・宝木台地における最終間氷期以降の地形発達史, JpGU-AGU Joint Meeting 2020, HQR06-P05.
15. 小林侑生, 末岡 茂, 福田将眞, Kohn, B.P., 横山立憲, 長谷部徳子, 田村明弘, 森下知晃, 田上高広 (2020): Izu-Bonin arc collision and mountain formation of the South Fossa Magna region: New insights from low-temperature thermochronology, JpGU-AGU Joint Meeting 2020, SCG59-P03.
16. 小松哲也, 小形 学, 中西利典, 川村 淳 (2020): 穿入蛇行河川の過去数十万年間の平均下刻速度の推定-紀伊山地十津川の事例-, JpGU-AGU Joint Meeting 2020, HGM03-02.
17. 松原章浩, 藤田奈津子, 木村健二 (2020): 超小型 AMS 装置に向けて発案した表面ストリッパーの解離能力の検討, 2020 年第 67 回応用物理学会春季学術講演会.
18. 松原章浩, 藤田奈津子, 木村健二 (2020): 超小型 AMS 装置に向けて発案した表面ストリッパーの解離能力の検討 II, 2020 年第 81 回応用物理学会秋季学術講演会.
19. 松四雄騎, 小松哲也, 末岡 茂, 代永佑輔, 小川由美, 藤田奈津子, 國分(齋藤)陽子 (2020): 宇宙線生成核種を用いた海成段丘の離水年代測定: その適用性と限界, JpGU-AGU Joint Meeting 2020, SCG59-P06.

20. 宮本 樹, 須貝俊彦, 木森大我, 小松哲也, 中西利典 (2020): 複数のボーリングコアの堆積相解析に基づく古東京湾奥の MIS 6 から最終間氷期の地形発達史, JpGU-AGU Joint Meeting 2020, HQR06-08.
21. 宮本 樹, 須貝俊彦, 木森大我, 小松哲也, 中西利典 (2020): 鬼怒川低地帯南部で掘削された複数のボーリングコアに基づく堆積相解析と第四紀後期の古地理変遷, 2020 年度日本地理学会春季学術大会.
22. 長田充弘, 横山立憲, 鏡味沙耶, 大藤 茂, (2020): ジルコン U-Pb 年代と Lu-Hf 同位体系からみた飛驒帯の起源, JpGU-AGU Joint Meeting 2020, SGL34-08.
23. 中西利典, 小松哲也, 本郷美佐緒, 野口真利江, 宮本 樹, 木森大我, 須貝俊彦 (2020): 隆起・沈降境界域での地殻変動の推定技術の高度化に向けた検討: 関東平野北部の事例, JpGU-AGU Joint Meeting 2020, HCG28-P03.
24. 丹羽正和, 島田耕史, 後藤 翠, 照沢秀司 (2020): 地形的に不明瞭な活構造帯を把握するための地質学的手法の検討: 南九州せん断帯における事例, 日本応用地質学会令和2年度オンライン研究発表会, 17.
25. 丹羽正和, 天野健治, 竹内竜史, 島田耕史 (2020): キャビティーリングダウン分光法による微量メタンガス測定に基づく地下坑道中の透水性割れ目の迅速な検出: 瑞浪超深地層研究所における事例, JpGU-AGU Joint Meeting 2020, HCG28-01.
26. 小形 学, King, G.E., Herman, F., 末岡 茂, 山田隆二, 小村健太郎 (2020): Constraining thermal/denudation histories in the last 0.1 Myr using multi-OSL-thermochronometry applied to samples from deep boreholes: case studies in the Japanese Islands, JpGU-AGU Joint Meeting 2020, SCG59-P07.
27. 小北康弘, 湯口貴史 (2020): 北上山地, 遠野複合深成岩体の鉄チタン酸化鉱物の離溶組織と化学組成, 日本鉱物科学会 2020 年オンライン年会.
28. 島田耕史, 丹羽正和, 竹内竜史, 天野健治 (2020): Fracture domain of granite based on orientation analysis and its relation to water conducting fractures: an example from the “-500m access/research gallery-North” of the Mizunami Underground Research Laboratory, JpGU-AGU Joint Meeting 2020, AGE40-P03.
29. 末岡 茂, 菅野瑞穂, 川村 淳, 丹羽正和, 岩野英樹, 檀原 徹 (2020): 熱年代解析と流体包有物分析に基づいた和歌山県本宮地域のスラブ起源熱水活動の熱的特徴, JpGU-AGU Joint Meeting 2020, SCG59-03.
30. 田上高広, 末岡 茂, 長谷部徳子, Herman, F. (2020): Overview of geo- and

thermo-chronology applicable to unravel the earth's surface evolution, JpGU-AGU Joint Meeting 2020, SCG59-01.

31. 立石 良, 島田耕史, 清水麻由子, 末岡 茂, 丹羽正和, 石丸恒存 (2020): 断層ガウジの化学組成を用いた線形判別分析による断層の活動性の推定, JpGU-AGU Joint Meeting 2020, SSS16-P14.
32. 渡邊みのり, 加藤丈典, 小北康弘, 湯口貴史 (2020): カソードルミネッセンス像およびチタン濃度定量による石英の結晶化プロセス解明: 大崩山花崗岩体を例に, 日本鉱物科学会 2020 年オンライン年会.
33. 渡部 豪, 浅森浩一, 島田顕臣, 小川大輝, 雑賀 敦, 梅田浩司 (2020): 南九州せん断帯における GNSS 観測(第 4 報), JpGU-AGU Joint Meeting 2020, SSS14-P23.
34. 山寄勇人, 加藤丈典, 小北康弘, 湯口貴史 (2020): 黒部川花崗岩における石英のチタン濃度とカソードルミネッセンス像の関係, 日本鉱物科学会 2020 年オンライン年会.
35. Yokoyama, T., Yuguchi, T., Sakata, S., Ishibashi, K., Ogita, Y., Ito, D., Ohno, T., Kagami, S., Mitsuguchi, T. and Sueoka, S. (2020): An analytical technique for simultaneously estimating crystallization age and temperature of zircon using LA-ICP-MS, Goldschmidt 2020.
36. Zwingmann, H., 丹羽正和, 山口飛鳥, 藤本光一郎 (2020): Constraining timing of thrust activity within the Nobeoka Thrust, SW Japan, JpGU-AGU Joint Meeting 2020, SGL34-P10.

(2019 年)

1. 安藤麻里子, 小嵐 淳, 高木健太郎, 近藤俊明, 寺本宗正, 永野博彦, 國分(齋藤)陽子, 高木正博, 石田祐宣, 梁 乃申 (2019): 炭素・窒素同位体比で探る森林土壌有機物の蓄積状況, 第 130 回日本森林学会大会.
2. Atarashi-Andoh, M., Koarashi, J., Takagi, K., Kondo, T., Teramoto, M., Nagano, H., Saito-Kokubu, Y., Takagi, M., Ishida, S. and Liang, N. (2019): An investigation of carbon dynamics in forest soils using carbon and nitrogen isotopic signatures, The 2nd International Workshop on Response and Adaptation of Terrestrial Ecosystem Carbon, Nitrogen and Water Cycles to Climate Change.
3. Balkanska, E., Georgiev, S., Kounov, A., Tagami, T. and Sueoka, S. (2019): Fission-track analysis using LA-ICP-MS: laboratory procedures adopted at joint Low-temperature Thermochronology laboratory at Sofia University and Geological Institute, BAS, Annual

Scientific Conference of BGS “Geosciences 2019”.

4. 藤田奈津子, 松原章浩, 三宅正恭, 渡邊隆広, 國分(齋藤)陽子, 加藤元久, 岡部宣章, 磯崎信宏, 石坂千佳, 虎沢 均, 西尾智博, 西澤章光, 島田顕臣, 尾方伸久 (2019): JAEA-AMS-TONO 加速器施設の現状(平成 30 年度), 第 32 回タンデム加速器及びその周辺技術の研究会.
5. 藤田奈津子, 松原章浩, 三宅正恭, 渡邊隆広, 國分(齋藤)陽子, 加藤元久, 岡部宣章, 磯崎信宏, 石坂千佳, 西尾智博, 西澤章光, 島田顕臣, 尾方伸久 (2019): JAEA-AMS-TONO の現状, 2019 年(第 80 回)応用物理学会秋季学術講演会.
6. 藤田奈津子, 岡部宣章, 松原章浩, 三宅正恭, 國分(齋藤)陽子, 渡邊隆広 (2019): 日本原子力研究開発機構 東濃地科学センターにおける加速器質量分析法による地下水中の  $^{129}\text{I}/^{127}\text{I}$  比測定法の構築, 日本放射化学会第 63 回討論会.
7. 藤田奈津子 (2019): 加速器質量分析と JAEA-AMS-TONO の今までとこれからのについて, プラズマ分光分析研究会第 107 回講演会.
8. Fujita, N., Matsubara, A., Miyake, M., Watanabe, T., Saito-Kokubu, Y., Kato, M., Okabe, N., Isozaki, N., Ishizaka, C., Nisio, T., Nishizawa, A., Shimada, A. and Ogata, N. (2019): Present status of JAEA-AMS-TONO in 2019, The 8th East Asia Accelerator Mass Spectrometry Symposium.
9. Fukuda, S., Sueoka, S., Hasebe, N., Tamura, A., Morishita, T. and Tagami, T. (2019): Revealing the mountain building process of the NE Japan Arc using low-temperature thermochronology: Preliminary data of the north area, The Second International Symposium on Crustal Dynamics (ISCD-2) -Toward integrated view of island arc seismogenesis-, P16.
10. 福田将真, 末岡 茂, Kohn, B.P., 長谷部徳子, 田村明弘, 森下知晃, 田上高広 (2019): 東北日本弧北部における白亜紀花崗岩類の低温領域熱年代学: 島弧平行方向の熱史/削剥史の復元を目指して, 日本地球惑星科学連合 2019 年大会, SCG61-P20.
11. 福田将真, 末岡 茂, Kohn, BP, 田上高広 (2019): 「奥羽脊梁山地はドーム状に隆起してきた?」: 低温領域の熱年代マッピングに基づく知見, 日本地質学会第 126 年学術大会, R15-O-12.
12. 鷹澤好博, 紀藤典夫, 清水麻由子 (2019): 高蓄積線量のテフラ石英の RTL 測定, ESR 応用計測研究会・ルミネッセンス年代測定研究会・日本フィッション・トラック研究会 2019 年合同研究会.

13. 比嘉咲希, 照沢秀司, 丹羽正和, 島田耕史, 小松哲也 (2019) : 活断層が不明瞭なせん断帯における力学的影響範囲の検討:南九州せん断帯の例, 日本地質学会第126年学術大会, R15-P-18.
14. 平舘俊太郎, 小嵐 淳, 安藤麻里子, 國分(齋藤)陽子 (2019) : Transition of soil organic carbon in a volcanic ash soil derived from Towada volcano, Japan, 日本地球惑星科学連合2019年大会, MIS13-04.
15. 日浦祐樹, 小松哲也, 須貝俊彦 (2019) : 数値地形解析による海底段丘判読の高度化, 日本地球惑星科学連合2019年大会, H-CG31.
16. 梶田侑弥, 末岡 茂, 福田将眞, 長谷部徳子, 田村明弘, 森下知晃, Kohn B.P., 横山立憲, 田上高広 (2019) : 東北日本弧前弧域における熱年代学的研究, 日本地球惑星科学連合2019年大会, SGL27-P07.
17. 梶田侑弥, 末岡 茂, 福田将眞, 長谷部徳子, 田村明弘, 森下知晃, 田上高広 (2019) : 熱年代学に基づく東北日本弧前弧域の熱史・削剥史の推定, 日本地質学会第126年学術大会, R15-P-3.
18. 梶田侑弥, 末岡 茂, 福田将眞, 長谷部徳子, 田村明弘, 森下知晃, Kohn, B.P., 田上高広 (2019) : 熱年代学を用いた北上山地の隆起・削剥史の推定, ESR 応用計測研究会・ルミネッセンス年代測定研究会・日本フィッション・トラック研究会2019年合同研究会.
19. 河上哲生, 末岡 茂, 田上高広 (2019) : 飛騨山脈黒部地域に産する花崗岩類の固結圧力の推定, 日本地質学会第126年学術大会, R1-P-2.
20. King, G.E., Sueoka, S., Tsukamoto, S., Herman, F., Ahadi, F., Gautheron, G., Delpech, G., Tagami T. (2019) : OSL and ESR thermochronometry of the Hida Range, northern Japanese Alps, 20th Congress of the International Union for Quaternary Research (INQUA) 2019.
21. 小嵐 淳, 安藤麻里子, 高木健太郎, 近藤俊明, 寺本宗正, 永野博彦, 國分(齋藤)陽子, 高木正博, 石田祐宣, 平舘俊太郎, 梁 乃申 (2019) : 温暖化は土壤に貯留する有機炭素にどのような変化をもたらすか?, 第130回日本森林学会大会.
22. Koarashi, J., Atarashi-Andoh, M., Takagi, K., Kondo, T., Teramoto, M., Nagano, H., Saito-Kokubu, Y., Takagi, M., Ishida, S., Hiradate, S. and Liang, N. (2019) : Warming effects on the quantity and quality of organic carbon in Japanese forest surface soils, The 2nd International Workshop on Response and Adaptation of Terrestrial Ecosystem Carbon, Nitrogen and Water Cycles to Climate Change.

23. 小嵐 淳, 安藤麻里子, 高木健太郎, 近藤俊明, 寺本宗正, 永野博彦, 國分(齋藤)陽子, 高木正博, 石田祐宣, 平舘俊太郎, 梁乃申 (2019): 日本の森林土壌における有機炭素の蓄積と動態ならびに長期温暖化操作に対する応答, 第 67 回日本生態学会大会.
24. Kobayashi, Y., Sueoka, S., Fukuda, S., Hasebe, N., Tamura, A., Morishita, T. and Tagami, T. (2019): Uplift and denudation history of the South Fossa Magna region using low-temperature thermochronometric methods, The Second International Symposium on Crustal Dynamics (ISCD-2) -Toward integrated view of island arc seismogenesis-, P17.
25. 小林侑生, 末岡 茂, 福田将眞, Kohn, B.P., 横山立憲, 長谷部徳子, 田村明弘, 森下知晃, 田上高広 (2019): Uplift and denudation history of the South Fossa Magna region using low-temperature thermochronometric methods, 日本地球惑星科学連合 2019 年大会, SCG61-P21.
26. 小林侑生, 末岡 茂, 福田将眞, 長谷部徳子, 田村明弘, 森下知晃, 田上高広 (2019): 伊豆弧の衝突と南部フォッサマグナ地域の山地形成:低温領域の熱年代学による新しい知見, ESR 応用計測研究会・ルミネッセンス年代測定研究会・日本フィッション・トラック研究会 2019 年合同研究会.
27. 小嶋 智, 三浦千明, 藤田奈津子 (2019): 長野県阿智地域に分布する梨子野川層に含まれる木片の AMS-14C 年代, 日本地質学会第 126 年学術大会.
28. 國分(齋藤)陽子 (2019): 日本原子力研究開発機構東濃地科学センターにおける年代測定技術開発, ESR 応用計測研究会・ルミネッセンス年代測定研究会・フィッション・トラック研究会 2019 年度合同研究会.
29. 小松哲也, 末岡 茂, 丹羽正和, 石丸恒存 (2019): 地質環境長期安定性評価確証技術開発:隆起・侵食に関する調査・評価技術の高度化に向けた取り組み, 日本地質学会第 126 年学術大会, R24-O-3.
30. 小松哲也, 末岡 茂, 日浦祐樹, 喜多村 陽, 三箇智二 (2019): 日本列島における削剥速度データの編集, 日本地質学会第 126 年学術大会, R15-P-2.
31. 松中哲也, 後藤章夫, 渡邊隆広, 土屋範芳, 平野伸夫, 笹公和 (2019): 蔵王山における火山活動と熱水系ヨウ素同位体比の変動, 日本陸水学会第 84 回金沢大会.
32. 松原章浩, 藤田奈津子, 木村健二, 三宅正恭, 磯崎信宏 (2019): 加速器質量分析の新しい同重体分別技術の開発に向けたコヒーレント共鳴励起の観測, 第 32 回タンデム加速器及びその周辺技術の研究会.



33. 松原章浩, 藤田奈津子, 木村健二 (2019) : コヒーレント共鳴励起を利用した加速器質量分析の同重体分別に関する基礎研究 II, 日本物理学会 2019 年秋季大会.
34. 松原章浩, 藤田奈津子, 木村健二 (2019) : 加速器質量分析の妨害粒子分別へのイオンチャネリング応用の現状, 2019 年(第 80 回)応用物理学会秋季学術講演会.
35. 松原章浩, 藤田奈津子, 木村健二 (2019) : 超小型 AMS 装置に向けて発案した表面ストリッパの解離能力の検討, 2020 年第 67 回応用物理学会春季学術講演会.
36. Matsubara, A., Fujita, N. and Kimura, K. (2019) : A Study of Surface Stripper for the AMS System with a Footprint below 2 m × 2 m, The 8th East Asia Accelerator Mass Spectrometry Symposium.
37. Minami, Y., Ohba, T., Hayashi, S., Saito-Kokubu, Y. and Kataoka, K.S. (2019) : Stratigraphy, Chronology, and Depositional Processes of Lahar Deposits during the Last 2500 Years at the Northern Base of Chokai Volcano, Northeast Japan, The 27th International Union of Geodesy and Geophysics General Assembly.
38. Mitsuguchi, T., Okabe, N., Miyake, M., Matsubara, A., Fujita, N., Watanabe, T. and Saito-Kokubu, Y., (2019) : Preliminary test for <sup>129</sup>I measurement of CaCO<sub>3</sub> samples in JAEA-AMS-TONO”, The 8th East Asia Accelerator Mass Spectrometry Symposium.
39. 本山 葵, 小川 康雄, 上嶋 誠, 浅森 浩一, 内田 利弘, 長谷 英彰, 小山 崇夫, 坂中 伸也, 山谷 祐介, 相澤 広記, 市來 雅啓 (2019) : 日本東北地方南部の地殻の三次元比抵抗構造, 日本地球惑星科学連合 2019 年大会, SEM19-P07.
40. 中西利典, 小松哲也, 小形 学, 細矢卓志, 加賀 匠 (2019) : 内陸部での河川下刻速度の推定技術の高度化に向けた検討—紀伊半島の事例—, 日本地球惑星科学連合 2019 年大会, HCG31-P02.
41. Nakanishi, T., Niwa, M., Okabe, N., Kato, M., Matsubara, A. and Fujita, N. (2019) : Marine reservoir effects in transgressive sediments from the Miyazaki Plain, southeast coast of Kyushu, Japan. 8th East Asia Accelerator Mass Spectrometry Symposium.
42. 奈良郁子, 松中哲也, 山崎慎一, 土屋範芳, 渡邊隆広, 山田和芳, 安田喜憲 (2019) : 高精度年代測定に基づく小川原湖の汽水化時期の推定, 日本陸水学会第 84 回金沢大会.
43. Niwa, M., Shimada, K., Sueoka, S. (2019) : Thermal constraints on clay growth in fault gouge and their relationship with fault zone evolution and hydrothermal alteration : Case study of gouges from granitic rock in central Japan, Internatinal Conference on Clay

Science and Technology.

44. 丹羽正和, 島田耕史 (2019): 石英の水和反応に関する水熱実験: 自然現象に対する新たな年代測定手法の開発に向けて, 日本地球惑星科学連合 2019 年大会, HCG31-P03.
45. 丹羽正和 (2019) 破砕帯の詳細な記載に基づく断層の発達史の復元: いくつかの事例の紹介, ESR 応用計測研究会・ルミネッセンス年代測定研究会・フィッション・トラック研究会 2019 年度合同研究会.
46. 小形 学, King, G.E., Herman, F., 末岡 茂 (2019): Multi-OSL 熱年代法による土岐花崗岩体の 10 万年スケールの熱履歴推定, 日本地球惑星科学連合 2019 年大会, SGL27-03.
47. 小形 学, 小松哲也, 中西利典 (2019): 環流旧河谷の旧河床堆積物を対象とした post-IR IRSL 年代測定: 紀伊山地における事例, ESR 応用計測研究会・ルミネッセンス年代測定研究会・フィッション・トラック研究会 2019 年度合同研究会.
48. 小川大輝, 浅森浩一, 濱 友紀 (2019): 地磁気・地電流データに含まれる電磁場コヒーレントノイズの除去に関する数値実験, 第 146 回地球電磁気・地球惑星圏学会総会および講演会.
49. 小北康弘, 加藤丈典, 湯口貴史 (2019): 東北日本, 遠野複合深成岩体の冷却プロセスの推定: 石英の結晶化温度に着目したアプローチ, ESR 応用計測研究会・ルミネッセンス年代測定研究会・フィッション・トラック研究会 2019 年度合同研究会.
50. Saito-Kokubu, Y., Nisio, T., Fujita, N. and Matsubara, A. (2019): Radiocarbon dating of a shrine pavilion and offerings at Abushina shrine in Gifu prefecture, Japan, The 8th East Asia Accelerator Mass Spectrometry Symposium.
51. 佐々木亮道, 小松哲也, 三輪敦志, 照沢秀司, 楳原京子, 比嘉咲希 (2019): 南九州せん断帯におけるリニアメントの分布, 日本地質学会第 126 年学術大会, R15-P-16.
52. 島田耕史, 後藤 翠, 佐々木亮道, 照沢秀司, 小松哲也 (2019): 九州南部のせん断帯におけるリニアメント分布の方位統計学的検討の試み, 日本地質学会第 126 年学術大会, R15-P-17.
53. 島田耕史, 末岡 茂 (2019): FT 自動計測装置を用いたアパタイト FT 密度測定作業時間と結果, ESR 応用計測研究会・ルミネッセンス年代測定研究会・日本フィッション・トラック研究会 2019 年合同研究会.
54. 下茂道人, 丹羽正和, 天野健治, 徳永朋祥, 戸野倉賢一, 松岡俊文, セバスチャンピロ

- ード (2019): 可搬型キャビティーリングダウン分光装置を用いた地表付近の極微量メタンガス濃度測定による活断層位置の特定:阿寺断層での測定事例, 日本地球惑星科学連合 2019 年大会, SSS15-P11.
55. Shimo, M., Niwa, M., Amano, K., Tokunaga, T., Tonokura, K. and Matsuoka, T. (2019): Using precise trace gas measurements to investigate active fault, AGU Fall Meeting 2019, A21L-2801.
56. Shishikura, S., Skrzypek, E., Jones, S., Chung, L., Gleadow, A., Sueoka, S. and Tagami, T. (2019): Monazite fission-track dating mMethod: Development of lower-temperature thermochronometer, The Second International Symposium on Crustal Dynamics (ISCD-2) -Toward integrated view of island arc seismogenesis-, P18.
57. 末岡 茂, 小松哲也, 松四雄騎, 代永佑輔, 佐野直美, 平尾宣暁, 植木忠正, 藤田奈津子, 國分(齋藤)陽子, 丹羽正和 (2019): 宇宙線生成核種法を用いた海成侵食段丘の離水年代の推定:宮崎県日向市の事例(速報), 日本地球惑星科学連合 2019 年大会, SGL27-02.
58. 末岡 茂, 田上高広 (2019): 「日本列島の基盤岩類における低温領域の熱年代データベース」の公開, 日本地質学会第 126 年学術大会, R15-P-1.
59. 末岡 茂, 島田耕史, 菅野瑞穂, 横山立憲 (2019): 原子力機構における FT および (U-Th)/He 分析施設の現状と展望, ESR 応用計測研究会・ルミネッセンス年代測定研究会・日本フィッション・トラック研究会 2019 年合同研究会.
60. Tagami, T. and Sueoka, S. (2019): Long-term uplift-denudation of the Japan Arc revealed by low-temperature thermochronology, The Second International Symposium on Crustal Dynamics (ISCD-2) -Toward integrated view of island arc seismogenesis-, A15.
61. Tagami, T., Sueoka, S. (2019): Long-term uplift-denudation of the Japan Arc revealed by low-temperature thermochronology, European Geosciences Union General Assembly 2019.
62. 竹内真司, 倉田 力, 丹羽正和, 植木忠正 (2019): 物質移行の観点から見た付加体中の不連続構造の特徴, 日本地球惑星科学連合 2019 年大会, HCG31-05.
63. 竹内真司, 倉田 力, 丹羽正和, 植木忠正 (2019): 付加体中の岩石の透水異方性の検討と物質移動特性について, 日本地下水学会 2019 年秋季講演会, 23.
64. 立石 良, 島田耕史, 植木忠正, 清水麻由子, 小松哲也, 末岡 茂, 丹羽正和, 安江健一, 石丸恒存 (2019): 断層ガウジの化学組成を用いた多変量解析による断層活動

の有無の推定, 日本地球惑星科学連合 2019 年大会, SSS15-P27.

65. 宇波謙介, 福士圭介, 高橋嘉夫, 丹羽正和 (2019): 能登半島西岸域の中新世安山岩中に認められる粘土鉱物中のカリウムの存在状態, 令和元年度第 63 回粘土科学討論会, P11.
66. 宇波謙介, 福士圭介, 高橋嘉夫, 板谷徹丸, 丹羽正和 (2019): 能登半島西岸域の中新世安山岩中に認められる変質鉱物中のカリウムの存在状態と K-Ar 年代の意義, 日本地球化学会第 66 回年会, 3P19.
67. Watanabe, T., Saito-Kokubu, Y., Fujita, N., Ishizaka, C., Nisio, T., Matsubara, A., Miyake, M., Isozaki, N. and Nishizawa, A. (2019): Small sample graphitization for  $^{14}\text{C}$  dating using EA-AGE3 at JAEA-AMS-TONO”, The 8th East Asia Accelerator Mass Spectrometry Symposium.
68. 渡邊隆広, 奈良郁子, 植木忠正, 土屋範芳 (2019): 津波堆積物の化学分析 —X 線分析顕微鏡による高空間分解能測定—, 日本陸水学会第 84 回金沢大会.
69. 渡部 豪, 雑賀 敦, 浅森浩一, 小川大輝, 島田顕臣, 梅田浩司 (2019): 九州南部のせん断帯における GNSS 観測 (第 3 報), 日本地球惑星科学連合 2019 年大会, SSS16-P22.
70. 渡部 豪, 浅森浩一 (2019): 南九州せん断帯の GNSS 観測と数値モデリング, 日本地震学会 2019 年度秋季大会, S03P-12.
71. Watanabe, T. and Asamori, K. (2019): Dense GNSS observation at an active shear zone in southern Kyushu, southwest Japan, AGU Fall Meeting 2019, T13H-0324.
72. Wijesinghe, J.N., Koarashi, J., Atarashi-Andoh, M., Saito-Kokubu, Y., Yamaguchi, N., Sase, T., Hosono, M., Inoue, Y., Mori, Y. and Hiradate, S. (2019): The rate of vertical translocation of soil organic carbon fractions stored in buried humic horizon from an Andosol, 日本土壤肥料学会 2019 年度大会.
73. 横山立憲, 三ツ口丈裕, 末岡 茂 (2019): 地質環境長期安定性に関する研究と LA-ICP 質量分析法による年代測定, 日本地球惑星科学連合 2019 年大会, SGL27-P01.
74. 代永佑輔, 佐野直美, 雨宮浩樹, 丹羽正和, 安江健一 (2019): 北海道幌延地域を事例とした EPMA を用いた後背地解析, 日本地質学会第 126 年学術大会, R9-P-6.

(2018 年)

1. Ahadi, F., Gautheron, C., Delpech, G., King, G.E., Sueoka, S., Tsukamoto, S., Herman, F.

- and Tagami, T. (2018): Pliocene to Quaternary thermal evolution of the Hida range (Japanese Alps) using zircon (U-Th-Sm)/He thermochronology, 16th International Conference on Thermochronology, P4-4.
2. 雨宮浩樹, 丹羽正和, 代永佑輔, 堀内泰治 (2018): 帯磁率異方性を用いた後背地解析: 北海道幌延地域の事例, 日本地質学会第 125 年学術大会.
  3. 藤沢純平, 南 雅代, 國分(齋藤)陽子 (2018): 琵琶湖に流入する安曇川、野洲川の河床堆積物の meteoric  $^{10}\text{Be}$ , 日本地球化学会第 65 回年会.
  4. 藤田奈津子, 三宅正恭, 渡邊隆広, 國分(齋藤)陽子, 松原章浩, 加藤元久, 岡部宜章, 磯崎信宏, 石坂千佳, 虎沢 均, 西尾智博, 西澤章光, 島田顕臣, 尾方伸久 (2018): JAEA-AMS-TONO の現状(平成 30 年度), 第 21 回 AMS シンポジウム.
  5. 藤田奈津子, 三宅正恭, 渡邊隆広, 國分(齋藤)陽子, 松原章浩, 加藤元久, 岡部宜章, 磯崎信宏, 石坂千佳, 虎沢 均, 西尾智博, 西澤章光, 島田顕臣, 尾方伸久 (2018): JAEA-AMS-TONO 加速器施設の現状(平成 29 年度), 第 31 回タンデム加速器及びその周辺技術の研究会.
  6. 福田将眞, 末岡 茂, 長谷部徳子, 田村明弘, 荒井章司, 田上高広 (2018): 東北日本弧における山岳熱史解析の経過報告: 低温領域の熱年代学による展開, 地殻ダイナミクス A02 班研究集会.
  7. 福田将眞, 末岡 茂, 長谷部徳子, 田村明弘, 荒井章司, 田上高広 (2018): アパタイト FT 法に基づいた東北日本弧における隆起・削剥史の推定: 島弧山地形成過程の解明を目指して, 第 42 回フィッション・トラック研究会.
  8. 福田将眞, 末岡 茂, 長谷部徳子, 田村明弘, 荒井章司, 田上高広 (2018): 東北日本弧における高空間解像度の熱年代マッピング—アパタイトフィッション・トラック解析に基づく山地隆起形態の制約—, 日本地球惑星科学連合 2018 年大会, SSG57-14.
  9. 福田将眞, 末岡 茂, 長谷部徳子, 田村明弘, 森下知晃, 田上高広 (2018): 高空間解像度の熱年代マッピングによる奥羽脊梁山地の隆起形態の推定: アパタイトフィッション・トラック法による展開, 第 43 回フィッション・トラック研究会.
  10. Fukuda, S., Sueoka, S., Hasebe, N., Tamura, A., Arai, S. and Tagami, T. (2018): Revealing the denudation and bedrock uplift pattern in the NE Japan Arc: Insight from apatite fission-track thermochronometry, 16th International Conference on Thermochronology, P6-73.
  11. 廣内大助, 松多信尚, 石山達也, 杉戸信彦, 竹下欣宏, 水谷光太郎, 安江健一, 藤田

- 奈津子, 澤 祥, 道家涼介, 佐藤善輝, 堤 浩之, 越後智雄, 池田一貴, 鈴木康弘 (2018): 糸魚川-静岡構造線活断層帯神城断層中北部における断層活動, 日本地理学会 2018 年春季学術大会.
12. 梶田侑弥, 末岡 茂, 福田将眞, 長谷部徳子, 田村明弘, 森下知晃, 田上高広 (2018): 東北日本弧前弧域における熱年代学的研究: アパタイト FT 年代予報, 第 43 回フィッション・トラック研究会.
  13. King, G.E., Sueoka, S., Tsukamoto, S., Biswas, R.H., Herman, F., Ahadi, F., Gautheron, C., Delpech, G. and Tagami, T. (2018): Constraining the Quaternary evolution of the Hida range of the Japanese Alps, European Geosciences Union General Assembly 2018.
  14. King, G.E., Sueoka, S., Tsukamoto, S., Herman, F., Ahadi, F., Gautheron, C., Delpech, G. and Tagami, T. (2018): Ultra-low temperature luminescence thermochronometry of the northern Japanese Alps, 日本地球惑星科学連合 2018 年大会, SGL30-01.
  15. King, G.E., Sueoka, S., Tsukamoto, S., Herman, F., Ahadi, F., Gautheron, C., Delpech, G. and Tagami, T. (2018): Sub-Quaternary exhumation rates changes in the Hida range of the Japanese Alps: A climatic control? 日本地球惑星科学連合 2018 年大会, MGI25-P03.
  16. King, G.E., Sueoka, S., Tsukamoto, S., Biswas, R.H., Herman, F., Ahadi, F., Gautheron, C., Delpech, G. and Tagami, T. (2018): Constraining the Quaternary evolution of the Hida range of the Japanese Alps using trapped charge thermochronometry, 16th International Conference on Thermochronology, P4-3.
  17. Koarashi, J., Atarashi-Andoh, M., Ishizuka, S., Hiradate, S. and Saito-Kokubu, Y. (2018): Quantitative understanding of the heterogeneity of soil organic carbon degradability for predicting long-term response of soil carbon to warming, ILTER Annual Coordinating Committee Meeting side-by-side with ILTER EAP scientific conference.
  18. 小林侑生, 末岡 茂, 福田将眞, 長谷部徳子, 田村明弘, 荒井章司, 田上高広 (2018): 低温領域の熱年代学的手法を用いた南部フォッサマグナ地域の隆起・削剥史解明, 日本地球惑星科学連合 2018 年大会, SCG57-P15.
  19. 小林侑生, 末岡 茂, 福田将眞, 長谷部徳子, 田村明弘, 森下知晃, 田上高広 (2018): 低温領域の熱年代学的手法に基づく南部フォッサマグナ地域の山地の隆起・削剥史, 第 43 回フィッション・トラック研究会.
  20. 小松哲也, 泉田温人, 高橋尚志, 舟津太郎, 村木昌弘, 宝蔵蓮也, 野村勝弘, 丹羽正和, 須貝俊彦 (2018): アナグリフ地形判読にもとづいた日本列島の海底段丘分布図, 日本地球惑星科学連合 2018 年大会, HGM03-P10.

21. Martin, A. J., 浅森浩一, 石丸恒存 (2018) : Probabilistic based models used for assessing new volcano formation and the existence of concealed active faults; The Main challenges and outlook, 日本地球惑星科学連合 2018 年大会, HCG27-01.
22. 松原章浩, 藤田奈津子, 石井邦和 (2018) : イオンチャネリングの AMS 技術への応用開拓, 2018 年秋季第 79 回応用物理学会学術講演会.
23. 松原章浩, 藤田奈津子, 石井邦和 (2018) : イオンチャネリングを利用した AMS の同重体分別, 日本物理学会第 73 回年次大会.
24. 宮嶋佑典, 斉藤綾花, 鍵 裕之, 横山立憲, 平田岳史 (2018) : 炭酸塩 U-Pb 年代測定 に向けたに向けたカルサイト標準物質の合成と均質性評価, 日本地球化学会第 65 回年会.
25. 西村周作, 斗澤皓正, 丹羽正和 (2018) : 北海道幌延地域の段丘堆積物における石英の OSL 及び ESR 信号の特徴, 平成 29 年度 ESR 応用計測研究会・第 42 回フィッシュン・トラック研究会・ルミネッセンス年代測定研究会 2017 年度合同研究会.
26. 西尾智博, 三宅正恭, 國分(齋藤)陽子, 藤田奈津子, 松原章浩 (2018) : ビーム調整用試料としての活性炭素の利用, 第 21 回 AMS シンポジウム.
27. 丹羽正和, 三箇智二, 小松哲也, 尾上博則, 松岡稔幸 (2018) : 復元古地形の妥当性確認としての地形変化シミュレーションの適用性, 日本応用地質学会平成 30 年度研究発表会.
28. Ogata, M., King, G.E., Herman, F. and Sueoka, S. (2018) : Multi-OSL-thermochronometry of feldspar from Toki granite, Japan. German Luminescence and Electron Spin Resonance meeting (DLED2018).
29. 小川大輝, 浅森浩一, 濱 友紀 (2018) : MT 法時系列データ解析への連続ウェーブレット変換の導入に関する一考察, 物理探査学会第 138 回学術講演会講演論文集, 54.
30. 小川大輝, 浅森浩一, 濱 友紀 (2018) : 連続ウェーブレット変換と独立成分分析による地磁気・地電流データの品質改善方法, 物理探査学会第 139 回学術講演会講演論文集, 39.
31. Saito-Kokubu, Y., Mitsuguchi, T., Watanabe, T., Yamada, T., Asami, R. and Iryu, Y. (2018) : Coral  $^{14}\text{C}$  measurements using the automated graphitization equipment AGE3 to estimate marine reservoir correction in the Ogasawara Islands, western subtropical Pacific, 23th International Radiocarbon conference.
32. 清水麻由子, 大橋聖和, 丹羽正和 (2018) : 高速摩擦試験により断層ガウジ模擬物質

中に形成された CCA の特徴, 日本地質学会第 125 年学術大会, R13-P-4.

33. 宍倉 愛, 末岡 茂, 田上高広 (2018) : モナザイトを用いたフィッショソ・トラック熱年代学-より低温の熱年代学的手法の開発の試み・進捗報告-, 第 42 回フィッショソ・トラック研究会.
34. 宍倉 愛, 末岡 茂, 田上高広 (2018) : モナザイトのフィッショソ・トラック年代測定:より低温の熱年代計の開発, 日本地球惑星科学連合 2018 年大会, SGL30-P10.
35. 末岡 茂, 田上高広 (2018) : 低温領域の熱年代学と thermo-kinematic モデルに基づく赤石山脈の熱史解析, 地殻ダイナミクス A02 班研究集会.
36. 末岡 茂, 郁芳隋徹, 長谷部徳子, 田上高広 (2018) : 茂住祐延断層のジルコン FT 熱年代解析:熱史モデルによる再検討, 第 42 回フィッショソ・トラック研究会.
37. 末岡 茂, 郁芳隋徹, 長谷部徳子, 田上高広 (2018) : ジルコン FT 熱年代に基づく茂住祐延断層(跡津川断層帯)の熱史解析, 日本地球惑星科学連合 2018 年大会, SGL30-P08.
38. Sueoka, S., Fukuda, S., Shishikura, A., Kobayashi, Y. and Tagami, T. (2018) : Low-temperature thermochronology of the Japan Arcs: Thermochronologic application to young and active island arcs. 16th International Conference on Thermochronology, P6-72.
39. Sueoka, S. and Tagami, T. (2018) : Release of low-T thermochronological database of bedrock in the Japanese Islands, Thermochronology and Noble Gas Geochronology and Geochemistry Organisation (TANG3O) meeting.
40. 田上高広, 末岡 茂 (2018) : 島孤山地の隆起侵食の全容解明を目指して:日本列島熱年代学マッピング計画, 日本地球惑星科学連合 2018 年大会, SSG57-15.
41. Tagami, T. and Sueoka, S. (2018) : Thermochronologic reconstruction of the long-term uplift-denudation of the Japan Arc, Asia Oceania Geosciences Society 15th Annual Meeting, SE36-A014.
42. Takahashi, H., Minami, M., Aramaki, T., Saito-Kokubu, Y., Itoh, S. and Kumamoto, Y. (2018) : Suitable procedure in preparing water samples for radiocarbon intercomparison, 23th International Radiocarbon conference.
43. Tagami, T. and Sueoka, S. (2018) : Long-term uplift-denudation of the Japan Arc revealed by low-temperature thermochronology, Thermochronology and Noble Gas Geochronology and Geochemistry Organisation (TANG3O) meeting.



44. 植木忠正, 丹羽正和, 代永佑輔, 岩野英樹, 檀原 徹 (2018) : 東海層群大田テフラのジルコン U-Pb 年代およびフィッショントラック年代, 日本地球惑星科学連合 2018 年大会, SGL30-P02.
45. 植木忠正, 横山立憲 (2018) : 北アルプス, 仁科山地に分布する青木花崗岩のジルコン U-Pb 年代, 日本地質学会第 125 年学術大会(2018 札幌大会), R1-P-3.
46. 植木忠正, 丹羽正和 (2018) : 粘土脈の化学組成測定のための薄片作製, 第 61 回日本薄片研磨片技術研究会.
47. 梅田浩司, 浅森浩一 (2018) : 飯豊山地下のマグマ供給系. 日本火山学会 2018 年度秋季大会, A2-14.
48. 渡邊隆広, 國分(齋藤)陽子, 藤田奈津子, 石坂千佳, 松原章浩, 西尾智博, 三宅正恭, 加藤元久, 磯崎信宏, 虎沢 均, 西澤章光 (2018) : JAEA-AMS-TONO における自動グラフィット調製装置 AGE3 の現状 一少量試料の放射性炭素年代測定を目的とした前処理手法の検討一, 第 21 回 AMS シンポジウム.
49. 渡部 豪, 浅森浩一, 奥山 哲, 雑賀 敦, 梅田浩司 (2018) : 地殻流体の存在を考慮した地殻変動シミュレーションの試み, 日本地球惑星科学連合 2018 年大会, SCG62-04.
50. 渡部 豪, 雑賀 敦, 浅森浩一, 島田顕臣, 梅田浩司 (2018) : 九州南部のせん断帯における GNSS 観測(続報), 日本地球惑星科学連合 2018 年大会, SSS09-P05.
51. 渡部 豪, 浅森浩一 (2018) : 日本列島における測地・地質学的ひずみ速度の推定(その 2), 日本地球惑星科学連合 2018 年大会, HCG27-P01.
52. 横山立憲, 國分(齋藤)陽子, 村上裕晃, 三ツ口丈裕, 平田岳史, 坂田周平, 檀原 徹, 岩野英樹, 丸山誠史, 常 青, 宮崎 隆, 木村純一 (2018) : LA-ICP 質量分析法による炭酸塩鉱物の U-Pb 年代測定技術の開発, 日本地球化学会第 65 回年会.
53. 横山立憲, 三澤啓司, 米田成一 (2018) : アルカリ元素に富む惑星物質に残された初期太陽系での揮発性元素分別の痕跡, 日本地球化学会第 65 回年会.
54. 代永佑輔, 佐野直美, 清水麻由子, 雨宮浩樹, 植木忠正, 丹羽正和 (2018) : EPMA による重鉱物の迅速な定量分析を用いた後背地解析:北海道幌延地域の事例について, 日本地質学会第 125 年学術大会.
55. 湯口貴史, 末岡 茂, 岩野英樹, 五十公野裕也, 石橋正祐紀, 檀原 徹, 笹尾英嗣, 平田岳史, 西山忠男 (2018) : 土岐花崗岩体内部の冷却履歴の位置的な相違:相違をもたらす原因と割れ目との関連, 日本地質学会第 125 年学術大会, R1-P-4.

(2017 年)

1. 浅森浩一, 濱 友紀, 梅田浩司, 田中秀実 (2017) : 2014 年長野県北部地震(Mj 6.7)の震源域における比抵抗構造の推定, 日本地球惑星科学連合 2017 年大会, SCG75-05.
2. Azami, K., Hirano, N., Takahashi, N. and Watanabe, T. (2017) : Origin of diagenetic signal in hydrogenetic ferromanganese crusts from petit-spot volcanoes, Asia Oceania Geosciences Society 14th Annual Meeting, SE13-D2-PM2-327-012 (SE13-A011).
3. 全 現徳, 乙坂重嘉, 渡邊隆広, 阿瀬貴博, 宮入陽介, 横山祐典, 小川浩史 (2017) : 海水中の溶存有機態放射性炭素分析システムの改良, 第 20 回 AMS シンポジウム, 2-4.
4. 藤沢純平, 南 雅代, 國分(齋藤)陽子, 松崎浩之 (2017) : 河床堆積物中  $^{10}\text{Be}$  濃度と粒径の関係, 第 20 回 AMS シンポジウム, 講演要旨集, p.16.
5. Fujita, N., Okabe, N., Matsubara, A., Miyake, M., Nishio, T., Nishizawa, A., Isozaki, N., Watanabe, T. and Saito-Kokubu, Y. (2017) : Present status of AMS  $^{129}\text{I}/^{127}\text{I}$  measurement at the JAEA-AMS-TONO, The Fourteenth International AMS Conference, Abstract ID: 13.
6. 藤田奈津子, 三宅正恭, 渡邊隆広, 國分(齋藤)陽子, 石丸恒存, 松原章浩, 西尾智博, 加藤元久, 磯崎信宏, 虎沢 均, 西澤章光 (2017) : JAEA-AMS-TONO 加速器施設の現状(平成 28 年度), 第 30 回タンデム加速器及びその周辺技術の研究会, P-5.
7. Fujita, N., Okabe, N., Matsubara, A., Miyake, M., Nishio, T., Nishizawa, A., Isozaki, N., Watanabe, T., and Saito-Kokubu, Y. (2017) : Present status of AMS  $^{129}\text{I}/^{127}\text{I}$  measurement at the JAEA-AMS-TONO, The Fourteenth International AMS Conference, Abstract ID:13.
8. 福田将眞, 末岡 茂, 長谷部徳子, 田村明弘, 荒井章司, 田上高広 (2017) : 低温領域の熱年代学的手法を用いた東北日本弧における隆起・削剥史の解明, 第 41 回フィッション・トラック研究会.
9. 福田将眞, 末岡 茂, 長谷部徳子, 田村明弘, 荒井章司, 田上高広 (2017) : 低温領域の熱年代学的手法を用いた東北日本弧における隆起・削剥史の解明, 日本地球惑星科学連合 2017 年大会, SGL37-03.
10. 福田将眞, 末岡 茂, 長谷部徳子, 田村明弘, 荒井章司, Kohn B.P., 田上高広 (2017) : 低温領域の熱年代学データに基づく東北日本弧における隆起・削剥史の解明:研究状況報告, 地殻ダイナミクス 2017 年度研究集会, P-17.
11. 石丸恒存 (2017) : 20 年目を迎えた JAEA-AMS-TONO, 第 30 回タンデム加速器及びそ

の周辺技術の研究会, S-4.

12. 石丸恒存, 安江健一, 尾上博則, 松岡稔幸, 小松哲也, 岩月輝希, 竹内竜史, 加藤智子, 笹尾英嗣 (2017) : 地質環境長期安定性評価確証技術開発—地質環境長期変動モデル」の概要—, 日本地質学会第 124 年学術大会, R24-P-4.
13. King G. E., Sueoka S., Ahadi F., Gautheron C., Herman F., Tagami T. and Tsukamoto S. (2017) : Constraining the Quaternary evolution of the Hida range of the Japanese Alps, 日本地球惑星科学連合 2017 年大会, MIS13-P10.
14. King G. E., Tsukamoto S., Sueoka S., Herman F., Ahadi F., Gautheron C., Delpech G. and Tagami T. (2017) : Low-temperature thermochronometry of the Japanese Alps, 15th Swiss Geoscience Meeting.
15. 小林侑生, 田上高広, 末岡 茂, 福田将真, 宍倉 愛 (2017) : 低温領域の熱年代学的手法を用いた南部フォッサマグナ地域の山地の隆起・削剥史研究—アパタイトフィッショソ・トラック年代の速報—, 地殻ダイナミクス 2017 年度研究集会, P-15.
16. 國分(齋藤)陽子, 藤田奈津子, 松原章浩, 西澤章光, 西尾智博, 三宅正恭, 石丸恒存, 渡邊隆広, 尾方伸久, 島田顕臣, 石坂千佳, 岡部宣章, 加藤元久, 磯崎信宏, 虎沢均 (2017) : JAEA-AMS-TONO の 20 年のあゆみ, 第 20 回 AMS シンポジウム, 講演要旨集 p.1.
17. 國分陽子 (2017) : 名古屋大学宇宙地球環境研究所と日本原子力研究開発機構東濃地科学センターとの研究協力, 2017 年度名古屋大学宇宙地球環境研究所年代測定研究シンポジウム.
18. 小松哲也, 泉田温人, 岡 岳宏, 高橋尚志, 野村勝弘, 安江健一, 須貝俊彦 (2017) : アナグリフ地形判読にもとづく日本列島の大陸棚の海底地形学図の作成, 日本地球惑星科学連合 2017 年大会, HGM04-P03.
19. Komura, K., Kaneda, H., Kashihara, S., Nishio, T. and Kojima S. (2017) : Deformation history of sackung features concentrated around the northern tip of the active Neodani fault, central Japan, 8th International Workshop on Paleoseismology, Active Tectonics and Archeoseismology (PATA DAYS 2017), Proceedings of the 8th International INQUA Meeting on Paleoseismology, Active Tectonics and Archeoseismology. Handbook and Programme, p.180-181.
20. Martin, A., Asamori, K., Ishimaru, T. (2017) : Assessing the probability of concealed active faults existing through Bayesian analysis of known active faults, historical seismicity and helium isotopes, 日本地球惑星科学連合 2017 年大会, HCG32-09.

21. Matsubara, A., Fujita, N., Ishii, K. (2017) : Application of ion channeling to the isobar separation of AMS, The Fourteenth International AMS Conference, Abstract ID:11.
22. 松原章浩, 藤田奈津子, 石井邦和 (2017) : イオンチャネリングのドーナツ効果における荷電分布, 日本物理学会 2017 年秋季大会, 22pA18-10.
23. 松原章浩, 藤田奈津子, 三宅正恭, 磯崎信宏, 西澤章光 (2017) : イオンチャネリングを用いた同位体分別の基礎技術, 第 30 回タンデム加速器及びその周辺技術の研究会, P-10.
24. 松原章浩, 藤田奈津子, 石井邦和 (2017) : 軸チャネリング近傍での荷電分布の取得, 原子衝突学会第42 回年会, 1P06.
25. 松岡稔幸, 尾上博則, 小松哲也, 安江健一, 岩月輝希, 竹内竜史, 加藤智子, 笹尾英嗣 (2017) : 地質環境長期安定性評価確証技術開発(1)地質環境長期変動モデル構築に関する不確実性の抽出・分析, 日本原子力学会 2017 年秋の大会, 1H08.
26. 奈良郁子, 渡邊隆広, 國分(齋藤)陽子, 堀内一穂 (2017) : チベット高原・プマユムツォ湖周辺岩石の  $^{10}\text{Be}$  測定結果, 第 20 回 AMS シンポジウム, 講演要旨集, p.31.
27. 奈良郁子, 渡邊隆広, 國分(齋藤)陽子, 中村俊夫 (2017) : 最終氷期後期における南シベリア・バイカル湖の水位変動, 2017 年度名古屋大学宇宙地球環境研究所年代測定研究シンポジウム.
28. 西村周作, 安江健一, 徳安佳代子, 斗澤皓正, 堀内泰治, 小松哲也 (2017) : 堆積物および基盤岩における石英の電子スピン共鳴信号特性の特徴, 第 1 回 QST 高崎シンポジウム, p.156.
29. 丹羽正和, 島田耕史 (2017) : 断層運動が石英の水和層厚さに及ぼす影響:SIMS による分析, 日本地球惑星科学連合 2017 年大会, S-GL35.
30. 丹羽正和, 清水麻由子, 安江健一, 西村周作, 雨宮浩樹, 植木忠正, 堀内泰治 (2017) : 山地の発達過程を把握するための後背地解析技術, 日本地質学会第 124 年学術大会, R24-O-9.
31. 岡部宣章, 藤田奈津子, 渡邊隆広, 國分(齋藤)陽子 (2017) : AMS による  $^{129}\text{I}/^{127}\text{I}$  比分析のためのヨウ素前処理法の整備と JAEA-AMS-TONO での現状, 第 20 回ヨウ素学会.
32. 岡部宣章, 藤田奈津子, 松原章浩, 三宅正恭, 西尾智博, 西澤章光, 磯崎信宏, 渡邊隆広, 國分(齋藤)陽子 (2017) : JAEA-AMS-TONO における  $^{129}\text{I}/^{127}\text{I}$  比測定の整備, 第 20 回 AMS シンポジウム, 講演要旨集 p.11.

33. 尾上博則, 松岡稔幸, 小松哲也, 安江健一, 岩月輝希, 竹内竜史, 加藤智子, 笹尾英嗣 (2017) : 地質環境長期安定性評価確証技術開発(2)地下水流動状態の長期的な変動性評価における不確実性の影響分析, 日本原子力学会 2017 年秋の大会, 1H09.
34. Saito-Kokubu, Y., Fujita, N., Miyake, M., Watanabe, T., Ishizaka, C., Okabe, N., Ishimaru, T., Matsubara, A., Nishizawa, A., Nishio, T., Kato, M., Torazawa, H. and Isozaki, N. (2017) : Current status of JAEA-AMS-TONO in the 20th year, The Fourteenth International AMS Conference, Abstract ID: 177.
35. 島田耕史, 末岡 茂, 照沢秀司 (2017) : 高速増殖原型炉もんじゅ敷地の花崗岩に見られる非活動的な破碎帯の小規模構造, 日本地球惑星科学連合 2017 年大会, HCG32-P01.
36. 清水麻由子, 佐野直美, 植木忠正, 安江健一, 丹羽正和, 鈴木和博 (2017) : EPMA を用いた重鉱物の存在比・化学組成分析による後背地解析の試み; 中部日本・屏風山断層の例, 日本地球惑星科学連合 2017 年大会, SGL36-P07.
37. 清水麻由子, 佐野直美, 植木忠正, 代永佑輔, 丹羽正和 (2017) : 後背地解析を目的とした EPMA による重鉱物の高速定量分析, 日本地質学会第 124 年学術大会, R9-P-1.
38. Shimizu, M., Sano, N., Ueki, T., Yonaga, Y., Yasue, K. and Niwa, M. (2017) : Identification of provenance rocks based on EPMA analyses of heavy minerals, American Geophysical Union 2017 Fall Meeting, EP21A-1815.
39. 穴倉 愛, 末岡 茂, 福田将眞, Kohn B.P., Gleadow A.J.W., 田上高広 (2017) : モナザイトを用いたフィッション・トラック熱年代学—より低温の熱年代学的手法の開発の試み—, 地殻ダイナミクス 2017 年度研究集会, P-16.
40. 末岡 茂 (2017) : 日本アルプスの形成に関する熱年代学的研究, 第 41 回フィッション・トラック研究会.
41. 末岡 茂, 池田安隆, 狩野謙一, 堤 浩之, 田上高広, Kohn B.P., 長谷部徳子, 田村明弘, 荒井章司, 柴田健二 (2017) : 低温領域の熱年代学と thermo-kinematic モデルに基づいた赤石山脈北部の隆起・削剥史, 日本地球惑星科学連合 2017 年大会, SGL36-01.
42. 末岡 茂 (2017) : 山地の隆起・削剥史と低温領域の熱年代学, 日本地球惑星科学連合 2017 年大会, SGL37-P01.
43. 末岡 茂, 池田安隆, 狩野謙一, 堤 浩之, 田上高広, Kohn B.P., 長谷部徳子, 田村明弘, 荒井章司, 柴田健二 (2017) : 低温領域の熱年代と thermo-kinematic モデルを用い

た赤石山脈の熱史解析, 地殻ダイナミクス 2017 年度研究集会, P-14.

44. 田上高広, 末岡 茂, 福田将眞, 宍倉 愛, 小林侑生 (2017) : 熱年代学を用いた島弧山地の隆起・侵食史復元:進行中のプロジェクト概要, 地殻ダイナミクス 2017 年度研究集会.
45. Tamura, H., Saito-Kokubu, Y. and Umeda, K. (2017) : Resolution of small neon isotope anomaly in helium rich gas samples from Kii peninsula, Japan by a NGX multi-collector noble gas mass spectrometer, International conference on gas geochemistry 2017.
46. 植木忠正, 清水麻由子, 佐野直美, 丹羽正和 (2017) : 岩石・鉱物学的手法を用いた後背地解析指標の検討, 日本地質学会第 124 年学術大会, R1-P-14.
47. 植木忠正, 丹羽正和, 代永佑輔 (2017) : 東海層群中のテフラのジルコン U-Pb 年代, 平成 29 年度一般社団法人日本応用地質学会中部支部技術交流会.
48. 梅田浩司, 浅森浩一, 雑賀 敦, 西村卓也 (2017) : 山陰ひずみ集中帯におけるヘリウム同位体比, 日本地球惑星科学連合 2017 年大会, SCG75-04.
49. 若月 強, 山田隆二, 國分(齋藤)陽子 (2017) : 島根県津和野町における大規模崩壊による堰止め湖の形成年代と堆積過程, 第 56 回日本地すべり学会研究発表会, P-51.
50. 渡部 豪, 浅森浩一 (2017) : 日本列島における地質学的ひずみ速度の推定, 日本地球惑星科学連合 2017 年大会, HCG63-P07.
51. 渡部 豪, 雑賀 敦, 浅森浩一 (2017) : 九州南部における GNSS 観測, 日本測地学会第 128 回講演会要旨集, p.129-130.
52. 渡部 豪, 雑賀 敦, 浅森浩一 (2017) : GNSS 稠密観測から推定される九州南部せん断帯の地殻変動, 日本地震学 2017 年度秋季大会, S03-P09.
53. 渡邊隆広, 國分(齋藤)陽子, 藤田奈津子, 石坂千佳, 西尾智博, 松原章浩, 三宅正恭, 加藤元久, 磯崎信宏, 虎沢 均, 西澤章光, 石丸恒存 (2017) : JAEA-AMS-TONO における自動グラフィット調製装置 AGE3 の現状, 第 20 回 AMS シンポジウム, 講演要旨集, p.24.
54. 渡邊隆広, 奈良郁子 (2017) : 湖沼堆積物および津波堆積物の放射性炭素年代測定, 第 20 回 AMS シンポジウム, 講演要旨集, p.32.
55. 横山立憲, 國分(齋藤)陽子, 三ツ口丈裕, 村上裕晃, 平田岳史, 坂田周平, 檀原 徹, 岩野英樹, 丸山誠史, 常 青, 宮崎 隆, 木村純一 (2017) : LA-ICP 質量分析法による炭酸塩鉱物の U-Pb 年代測定のための標準試料の探求, 2017 年度日本地球化学会年

会.

56. Yokoyama, T., Saito-Kokubu, Y., Mitsuguchi, T., Murakami, H., Hirata, T., Sakata, S., Danhara, T., Iwano, H., Maruyama, S., Miyazaki, T., Chang, Q. and Kimura, J.-I. (2017) : U-Pb dating of calcium carbonate using LA-MC-ICPMS, 7th Asia-Pacific Winter Conference on Plasma Spectrochemistry.

(2016 年)

1. 青木和弘, 瀬下和芳, 田中義浩, 増田祐輝, 丹羽正和, 亀高正男, 酒井 亨, 嶋本利彦 (2016) : 塩ノ平断層における断層ガウジの摩擦特性(その2) - 車断層(塩ノ平断層南方延長部)における断層ガウジとの比較 -, 日本地球惑星科学連合 2016 年大会, SCG63-P23.
2. 藤沢純平, 南 雅代, 國分(齋藤)陽子 (2016) : 琵琶湖流入河川の河床堆積物の meteoric-10Be, 第 18 回 AMS シンポジウム講演要旨集, p.30.
3. 藤田奈津子, 松原章浩, 渡邊隆広, 國分(齋藤)陽子, 梅田浩司, 西澤章光, 三宅正恭, 大脇好夫, 西尾智博, 加藤元久 (2016) : JAEA-AMS-TONO の現状 (平成 27 年度), 第 18 回 AMS シンポジウム講演予稿集, p.39, 第 18 回 AMS シンポジウム報告集, 85-90.
4. 藤田奈津子, 松原章浩, 渡邊隆広, 國分(齋藤)陽子, 梅田浩司, 石丸恒存, 西澤章光, 三宅正恭, 大脇好夫, 西尾智博, 加藤元久, 磯崎信宏 (2016) : JAEA-AMS-TONO タンデム加速器の現状 (平成27年度), 第 29 回タンデム加速器及びその周辺技術の研究会講演要旨集, p.12, 第 29 回タンデム加速器及びその周辺技術の研究会報告集, 39-42.
5. 藤田奈津子, 三宅正恭, 渡邊隆広, 國分(齋藤)陽子, 石丸恒存, 西澤章光, 松原章浩, 磯崎信宏, 西尾智博, 加藤元久, 虎沢 均 (2016) : JAEA-AMS-TONO の現状(平成 28 年度), 第 19 回 AMS シンポジウム講演要旨集, p.22, 第 19 回 AMS シンポジウム報告集, p.68-71.
6. 福田将眞, 末岡 茂, 田上高広 (2016) : 東北日本の基盤岩類における低温領域の熱年代データコンパイル:AFT 年代測定結果速報, 日本地球惑星科学連合 2016 年大会, SCG63-P30.
7. 福田将眞, 末岡 茂, 田上高広 (2016) : 東北日本弧の基盤岩類における低温領域の熱年代マッピング:LA-ICP-MS を用いた AFT 年代報告, 日本地質学会第 123 年学術大会, R14-P-10.
8. Fukuda, S., Sueoka, S. and Tagami, T. (2016) : Estimation of thermal histories from

low-temperature thermochronometric data in NE Japan Arc: A report of apatite fission-track ages by using LA-ICP-MS, International Symposium of Crustal Dynamics 2016, ICSD-A-P12.

9. 早川 翼, 勝田長貴, 國分陽子, 長谷部徳子, 村上拓馬, 宮田佳樹, 長谷川精, 長尾誠也, 川上紳一 (2016) : モンゴル西部の湖沼堆積物を用いた完新世後期の古環境変動解析, 日本地球惑星科学連合 2016 年大会, MIS17-P26.
10. 石丸恒存, 島田耕史, 末岡 茂, 安江健一, 丹羽正和, 梅田浩司 (2016) : 花崗岩中の破砕帯の活動性評価-高速増殖原型炉もんじゅ敷地内破砕帯調査を例として-, 日本地球惑星科学連合 2016 年大会, HCG25-18.
11. 亀高正男, 酒井 亨, 田中由美子, 青木和弘, 田中義浩, 瀬下和芳, 丹羽正和, 増田祐輝 (2016) : 塩ノ平断層及び南方延長部の破砕帯の特徴, 日本地球惑星科学連合 2016 年大会, SCG63-P22.
12. 香取拓馬, 小林健太, 丹羽正和, 清水麻由子, 小松哲也, 安江健一, 堀内泰治 (2016) : Study of fault evolution based on texture and chemical analyses of fault gouge: Case study of the Byobuyama fault, Gifu prefecture, central Japan, 日本地球惑星科学連合 2016 年大会, SCG63-P17.
13. 國分(齋藤)陽子, 西尾智博, 松原章浩, 石坂千佳, 堀内一穂 (2016) : キャリア用ベリリウム標準溶液中の  $^{10}\text{Be}/^{9}\text{Be}$  比, 第 18 回 AMS シンポジウム講演要旨集, p.52.
14. 小村慶太郎, 金田平太郎, 柏原真太郎, 小嶋 智, 西尾智博, 安江健一 (2016) : 重力変形地形と活断層との関係; 根尾谷断層北端部における研究例, 日本応用地質学会研究発表会講演論文集, p.5-6.
15. 松原章浩, 三宅正恭, 西澤章光, 藤田奈津子, 國分(齋藤)陽子 (2016) : JAEA-AMS-TONO における  $^{10}\text{Be}/^{9}\text{Be}$  比測定の検出限界の改善, 第 18 回 AMS シンポジウム講演要旨集, p.50, 第 18 回 AMS シンポジウム報告集, 107-113.
16. 松原章浩, 三宅正恭, 磯崎信宏, 西澤章光, 藤田奈津子, 國分(齋藤)陽子 (2016) : JAEA-AMS-TONO の 5 MV 加速器の加速管コンディショニング, 第 29 回タンデム加速器及びその周辺技術の研究会講演要旨集, p.32, 第 29 回タンデム加速器及びその周辺技術の研究会報告集, 125-129.
17. 松原章浩, 藤田奈津子, 石井邦和, 小川英巳, 三宅正恭, 國分(齋藤)陽子 (2016) : コヒーレント共鳴励起による AMS の同重体分別の基礎研究, 原子衝突学会第 41 回年会, P47.



18. 松原章浩, 三宅正恭, 磯崎信宏, 西澤章光, 藤田奈津子, 國分(齋藤)陽子(2016) : イオンビーム透過率の試料カソード位置依存性, 第 19 回 AMS シンポジウム講演要旨集, p.16, 第 19 回 AMS シンポジウム報告集, p.118-121.
19. 松岡稔幸, 小松哲也, 安江健一, 尾上博則, 大山卓也, 岩月輝希, 笹尾英嗣, 梅田浩司 (2016) : 地質環境長期安定性評価確証技術開発 (2)地質環境長期変動モデル(幌延地域), 日本地球惑星科学連合 2016 年大会, HCG25-P02.
20. 南 雅代, 藤沢純平, 北川浩之, 國分(齋藤)陽子, Wan Hong (2016) : 名古屋大学宇宙地球環境研究所における  $^{10}\text{Be}$  分析の立ち上げ, 第 18 回 AMS シンポジウム講演要旨集, p.54.
21. 村上裕晃, 國分(齋藤)陽子, 横山立憲, 渡邊隆広, 湯口貴史, 藤川将之, 西山忠男 (2016) : カソードルミネッセンスを用いた炭酸塩鉱物の成長構造の把握, 日本鉱物科学会 2016 年年会, R7-P04.
22. Nara, F.W., Yamasaki, S., Watanabe, T., Tsuchiya, N., Miyahara, H., Kato, T., Minoura, K. and Kakegawa, T. (2016) : Rb/Sr ratio in Lake Baikal sediment core: the new geochemical proxy for East Asian winter monsoon strength during cool climate period, 26th Goldschmidt International Conference 2016, 2247.
23. 尾上博則, 小松哲也, 安江健一, 岩月輝希, 竹内竜史, 加藤智子, 笹尾英嗣, 梅田浩司 (2016) : 地質環境長期安定性評価確証技術開発 (1)地質環境長期変動モデル(東濃地域), 日本地球惑星科学連合 2016 年大会, HCG25-P01.
24. 大橋聖和, 大坪 誠, 宮川歩夢, 丹羽正和 (2016) : 歪み集中帯に分布する小規模断層の産状とその重要性, 日本地球惑星科学連合 2016 年大会, SCG63-18.
25. 大橋聖和, 大坪 誠, 宮川歩夢, 丹羽正和, 田村友識 (2016) : 跡津川断層系周辺におけるひずみ集中帯の地形および構造地質学的特徴; 小規模断層群の分布とその産状, 日本地質学会第 123 年学術大会, R14-P-1.
26. 大坪 誠, 大橋聖和, 宮川歩夢, 丹羽正和 (2016) : 跡津川断層系周辺のひずみ集中帯に発達する小断層群から推定される応力状態とその重要性, 日本地質学会第 123 年学術大会, R14-P-2.
27. Seshimo, K., Aoki, K., Tanaka, Y., Niwa, M., Shimamoto, T., Ma, S., Yao, L. and Kametaka, M. (2016) : Frictional Properties of Shionohira Fault Gouge (Part 2) -A Comparison with Kuruma Fault Gouge at the Southern Extension of Shionohira Fault-, American Geophysical Union 2016 Fall Meeting, MR41D-2717.

28. 島田耕史, 石丸恒存, 末岡 茂, 照沢秀司, 安江健一, 丹羽正和, 梅田浩司 (2016) : 高速増殖原型炉もんじゅ付近の花崗岩に見られる並走粘土脈を含む小規模破碎帯の活動性評価, 日本地球惑星科学連合 2016 年大会, HCG25-P09.
29. 島田耕史, 末岡 茂, 石丸恒存 (2016) : 上載地層法に代わる破碎帯活動性評価手法, 日本地質学会第 123 年学術大会, R23-O-2.
30. 清水麻由子, 柴田健二, 鈴木和博, 末岡 茂, 丹羽正和 (2016) : The progress of the CHIME monazite dating on JXA-8530F FE-EPMA equipped with R = 100 mm spectrometers, 日本地球惑星科学連合 2016 年大会, SGL38-P04.
31. 清水麻由子, 佐野直美, 安江健一, 柴田健二, 丹羽正和, 鈴木和博 (2016) : EPMA を用いた東海層群土岐砂礫層の重鉍物の存在比・化学組成と後背地の解明, 日本地質学会第 123 年学術大会, R8-P-8.
32. 清水麻由子, 佐野直美, 鈴木和博 (2016) : JAEA 東濃地科学センターの JEOL FE-EPMA -JXA-8530F- を用いた鉍物分析と年代測定, 名古屋大学宇宙地球環境研究所年代測定研究シンポジウム.
33. 末岡 茂, 島田耕史, 石丸恒存, 丹羽正和, 安江健一, 梅田浩司, 檀原 徹, 岩野英樹 (2016) : 黒雲母の塑性変形を伴う破碎帯の活動年代:FT 熱年代解析による制約, 第 40 回フィッション・トラック研究会.
34. 末岡 茂, 田上高広, Kohn B.P., 福田将真 (2016) : 東北日本弧における(U-Th)/He 熱年代マッピング:長期スケールの地殻変動像の解明に向けて, 日本地球惑星科学連合 2016 年大会, SCG63-P29.
35. 末岡 茂, 池田安隆, 狩野謙一, 堤 浩之, 田上高広, Kohn B.P., 長谷部徳子, 田村明弘, 荒井章司, 柴田健二 (2016) : 糸静線南部の活動と赤石山脈北部の隆起・削剝史: 低温領域の熱年代と thermo-kinematic モデルによる検討, 日本活断層学会 2016 年度秋季学術大会, P-9.
36. Sueoka, S., Tagami, T., Kohn, B.P. and Fukuda, S. (2016) : (U-Th)/He thermochronometric mapping of NE Japan Arc: Preliminary results, 15th International Conference on Thermochronology, S7-P35.
37. Sueoka, S., Tagami, T., Kohn, B.P. and Fukuda, S. (2016) : Post middle Miocene uplift and denudation history of NE Japan Arc mountains: Insights from (U-Th)/He thermochronometry, International Symposium of Crustal Dynamics 2016, ICSD-A-P11.
38. Sueoka, S., Shimada, K., Ishimaru, T., Niwa, M., Yasue, K., Umeda, K., Danhara, T. and

- Iwano, H. (2016) : Fission-track dating of faults with plastically deformed biotites, 26th Goldschmidt International Conference 2016, 2970.
39. 竹内絵里奈, 小嵐 淳, 國分(齋藤)陽子, 安藤麻里子, 西尾智博, 大脇好夫, 松原章浩 (2016) : グラファイト化における不純物除去法の汚染評価, 第 18 回 AMS シンポジウム講演要旨集, p.53.
  40. 竹内竜史, 尾上博則, 安江健一 (2016) : 地質環境長期安定性評価確証技術開発 (5) 地下水涵養量推定技術, 日本地球惑星科学連合 2016 年大会, HCG25-P05.
  41. Tamura, H., Saito-Kokubu, Y. and Umeda, K. (2016) : High precision noble gas isotope measurement by NGX multicollector noble gas mass spectrometer, 26th Goldschmidt International Conference 2016, 19c-424.
  42. 徳安佳代子, 安江健一, 小松哲也, 田村糸子, 堀内泰治 (2016) : 地質環境長期安定性評価確証技術開発 (3)後背地解析技術, 日本地球惑星科学連合 2016 年大会, HCG25-P03.
  43. 徳安佳代子, 田村糸子, 小松哲也, 安江健一 (2016) : 河成段丘堆積物の OSL 年代測定と指標テフラ分析, 日本地球惑星科学連合 2016 年大会, STT53-P04.
  44. 徳安佳代子, 安江健一, 小松哲也, 田村糸子, 堀内泰治 (2016) : 後背地解析技術開発に向けた鮮新・更新世堆積物とその周辺の基盤岩体中の石英 ESR 信号特性, 第 32 回 ESR 応用計測研究会.
  45. 植木忠正, 丹羽正和 (2016) : X 線分析顕微鏡および画像処理・解析ソフトウェアを用いたモード測定, 日本地質学会第 123 年学術大会, R2-P-3.
  46. 植木忠正, 清水麻由子, 丹羽正和, 安江健一 (2016) : 岩石記載に基づく後背地解析の研究事例, 平成 28 年度一般社団法人日本応用地質学会中部支部技術交流会.
  47. Watanabe, T., Nara, F.W., Matsunaka, T., Minoura, K., Kakegawa, T., Yamasaki, S., Tsuchiya, N., Nakamura, T., Wang, J. and Zhu, L. (2016) : The millennium scale monsoon cycles recorded in a sediment core from alpine Tibetan lake, 26th Goldschmidt International Conference 2016, 3381.
  48. 渡邊隆広, 國分(齋藤)陽子, 村上裕晃, 横山立憲, 雨宮浩樹, 水野 崇, 久保田満, 岩月輝希 (2016) : 地質環境長期安定性評価確証技術開発 (6)炭酸塩鉱物測定技術, 日本地球惑星科学連合 2016 年大会, HCG25-P06.
  49. 渡邊隆広, 國分(齋藤)陽子, 西尾智博, 藤田奈津子, 三宅正恭, 西澤章光, 松原章浩 (2016) : JAEA-AMS-TONO での元素分析計を用いた 14C 年代測定の前処理手法の改

- 良, 第 18 回 AMS シンポジウム講演要旨集, p.51, 第 18 回 AMS シンポジウム報告集, 114-117.
50. 渡邊隆広, 國分(齋藤)陽子, 藤田奈津子, 松原章浩, 西尾智博, 三宅正恭, 加藤元久, 磯崎信宏, 虎沢 均, 西澤章光, 石丸恒存 (2016) : JAEA-AMS-TONO における放射性炭素年代測定の前処理手法の現況, 第 19 回 AMS シンポジウム講演要旨集, p.18, 第 19 回 AMS シンポジウム報告集, p.126-128.
  51. 渡部 豪, 奥山 哲, 浅森浩一, 梅田浩司 (2016) : 地質環境長期安定性評価確証技術開発 (4)地殻変動予測技術, 日本地球惑星科学連合 2016 年大会, HCG25-P04.
  52. 渡部 豪, 浅森浩一, 梅田浩司, 雨宮浩樹, 野村勝弘, 中司 昇 (2016) : 2016 年熊本地震に伴う九州南部のせん断帯における地殻変動(序報), 日本地球惑星科学連合 2016 年大会, MIS34-P28.
  53. 渡部 豪, 浅森浩一 (2016) : 日本列島における測地・地質学的ひずみ速度の推定, 日本測地学会第 126 回講演会要旨集, p.123.
  54. Watanabe, T., Asamori, K. and Umeda, K. (2016) : Strain budget accompanied with the 2016 Kumamoto earthquakes inferred from geodetic and geological data, AGU Fall Meeting 2016, S53B-2872.
  55. 安江健一, 笹尾英嗣, 尾上博則, 岩月輝希, 加藤智子, 竹内竜史, 國分(齋藤)陽子, 浅森浩一, 梅田浩司 (2016) : 地質環境長期安定性評価確証技術開発, 日本地球惑星科学連合 2016 年大会, HCG25-P05.
  56. 安江健一, 徳安佳代子, 小松哲也, 堀内泰治, 清水麻由子, 丹羽正和 (2016) : 電子スピン共鳴法を用いた後背地解析技術の研究, 日本地質学会第 123 年学術大会, R8-O-4.
  57. 山田隆二, 國分(齋藤)陽子, 若月 強, 安江健一 (2016) : 化学的前処理法の違いによる放射性炭素年代測定に対する影響評価, 日本地球惑星科学連合 2016 年大会, SGL38-P02.
  58. 山田隆二, 若月 強, 國分(齋藤)陽子, 安江健一 (2016) : AMS 放射性炭素年代測定に対する化学的前処理法の違いが与える影響の評価, 平成 27 年度 ESR 応用計測研究会・第 40 回フィッション・トラック研究会・ルミネッセンス年代測定研究会合同研究会.
  59. Yamasaki, S., Zwingmann, H., Niwa, M. and Tagami, T. (2016) : K-Ar dating for fault gouges within the Arima-Takatsuki Tectonic Line, southwest Japan, 26th Goldschmidt International Conference 2016, 3536.

60. Yokoyama, T., Saito-Kokubu, Y., Murakami, H., Watanabe, T., Hirata, T., Sakata, S., Danhara, T., Iwano, H., Maruyama, S., Miyazaki, T., Senda, R., Chang, Q. and Kimura, J.-I. (2016) : A Survey on New Standard Materials for U-Pb Dating of Carbonate Using LA-MC-ICP-MS, 26th Goldschmidt International Conference 2016, 17d-407.
61. 湯口貴史, 末岡 茂, 岩野英樹, 壇原 徹, 石橋正祐紀, 笹尾英嗣, 西山忠男 (2016) : 中部日本土岐花崗岩のアパタイトフィッショントラック年代の空間分布; 大陸縁辺部に定置した深成岩体の上昇速度, 日本鉱物科学会 2016 年年会, R6-P08.

(2015 年)

1. Aoki, K., Seshimo, K., Tanaka, Y., Niwa, M., Kametaka, M., Sakai, T. and Shimamoto, T. (2015) : Frictional properties of Shionohira Fault Gouge of Fukushima, Japan, American Geophysical Union 2015 Fall Meeting, T51A-2843.
2. 浅森浩一, 梅田浩司, 根木健之 (2015) : 飯豊山地下の地震波速度構造及び比抵抗構造, 日本地震学会 2015 年度秋季大会, S06-P06.
3. 藤田奈津子, 松原章浩, 西澤章光, 三宅正恭, 國分(齋藤)陽子 (2015) : 14C-AMS に対する炭素ビーム軌道測定, 第 27 回タンデム加速器及びその周辺技術の研究会報告集, 134-137.
4. 福田将眞, 末岡 茂, 田上高広 (2015) : 日本列島の基盤岩類における低音領域の熱年代データのコンパイル, 日本地質学会第 122 年学術大会, R14-P-4.
5. 池田久士, 柴田健二, 村上拓馬, 國分(齋藤)陽子, 勝田長貴 (2015) : 気候変動に対するアジア大陸内陸部の環境応答: バイカル湖湖底堆積物の微量元素分析, 日本地球惑星科学連合 2015 年大会, HTT35-P01.
6. 池見洋明, Hendra Pachri, 國分(齋藤)陽子, 三谷泰浩, 黒木 貴一 (2015) : ベリリウム同位体を用いた山地流域の土砂動態に関する検討, 平成 27 年度 日本応用地質学会研究発表会.
7. 鎌滝孝信, 丹羽正和, 生田正文, 黒澤英樹, 壇原 徹, 國分(齋藤)陽子 (2015) : 宮崎平野南部にみられる 1662 年日向灘地震による津波堆積物, 日本第四紀学会 2015 年大会, P-17.
8. 香取拓馬, 小林健太, 安江健一, 丹羽正和, 小松哲也, 細矢卓志, 笹尾英嗣 (2015) : 岐阜県南東部に位置する屏風山断層の破碎・変質履歴, 日本地球惑星科学連合 2015 年大会, SSS29-P06.

9. 國分(齋藤)陽子, 松原章浩, 藤田奈津子, 梅田浩司, 西澤章光, 三宅正恭, 大脇好夫, 西尾智博, 眞田勝樹 (2015) : JAEA-AMS-TONO の現状 (平成 26 年度), 第 17 回 AMS シンポジウム講演予稿集, p.16, 第 17 回 AMS シンポジウム報告集, 36-39.
10. Martin, A., 浅森浩一, 石丸恒存, 梅田浩司 (2015) : 多重のデータセットを考慮したベイズ統計学による未知の活断層の評価, 日本地球惑星科学連合 2015 年大会, HCG34-03.
11. 松原章浩, 藤田奈津子, 西澤章光, 三宅正恭, 西尾智博, 大脇好夫, 眞田勝樹, 國分(齋藤)陽子 (2015) : JAEA-AMS-TONO の現状(平成 26 年度), 第 28 回タンデム加速器及びその周辺技術の研究会 講演要旨集, p.7, 第 28 回タンデム加速器及びその周辺技術の研究会報告集, 17-22.
12. 松原章浩, 藤田奈津子, 三宅正恭, 西澤章光, 國分(齋藤)陽子 (2015) : JAEA-AMS-TONO の装置技術の現状 (H26 年), 第 17 回 AMS シンポジウム講演予稿集, p.35, 第 17 回 AMS シンポジウム報告集, 40-45.
13. 松原章浩, 藤田奈津子, 西澤章光, 三宅正恭 (2015) : AMS 装置における  $\Delta E$  電離箱のパルス信号に及ぼす同重体干渉の影響, 日本物理学会 第 70 回年次大会概要集 p.604.
14. 三枝博光, 水野 崇, 梅田浩司, 安江健一, 笹尾英嗣, 岩月輝希, 加藤智子, 國分(齋藤)陽子, 竹内竜史, 松岡稔幸 (2015) : 地質環境長期安定性評価確証技術開発(2)地質環境長期変動モデルの開発, 日本原子力学会 2015 年秋の大会.
15. 南 雅代, 高橋 浩, 荒巻能史, 國分(齋藤)陽子, 伊藤 茂, 中村俊夫 (2015) : 水試料の  $^{14}\text{C}$  比較プログラム (RICE-W) -沈殿法の検討-, 名古屋大学年代測定総合研究センターシンポジウム, 名古屋大学加速器質量分析計業績報告書(XXVI), p.132-137.
16. 水野 崇, 三枝博光, 梅田浩司, 安江健一, 笹尾英嗣, 岩月輝希, 加藤智子, 國分(齋藤)陽子, 竹内竜史 (2015) : 地質環境長期安定性評価確証技術開発(1)全体概要, 日本原子力学会 2015 年秋の大会.
17. 根木健之, 幕内 歩, 濱 友紀, 浅森浩一 (2015) : ディストーション・テンソルを未知パラメータとみなした MT 法 3 次元インバージョン, 物理探査学会第 132 回学術講演会講演論文集, 51.
18. 丹羽正和, 島田耕史, 末岡 茂, 田村 肇, 柴田健二 (2015) : 敦賀半島, 江若花崗岩に分布する断層ガウジの粘土鉱物組成と K-Ar 年代, 日本地質学会第 122 年学術大会, R14-P-14.

19. 丹羽正和, 田辺裕明, 石丸恒存, 島田耕史, 植木忠正 (2015) : 花崗岩中に発達する断層や粘土脈に含まれる鉍物粒子の微細構造, 日本応用地質学会研究発表会, P36.
20. Okuno, M., Saito-Kokubu, Y., Nakamura, T. and Kobayashi, T. (2015) : AMS radiocarbon dating of pyroclastic flow deposits of Kuju volcanic group, Kyushu, Japan, International Radiocarbon conference.
21. 奥野 充, 長岡信治, 國分(齋藤)陽子, 中村俊夫, 小林哲夫 (2015) : 九重火山群南麓の火砕流堆積物の放射性炭素年代とその意義, 日本地形学連合 2015 年秋季大会.
22. 酒井 亨, 亀高正男, 田中由美子, 青木和弘, 田中義浩, 丹羽正和, 瀬下和芳 (2015) : 塩ノ平断層の破砕部性状と変位センス, 日本地質学会第 122 年学術大会, R12-P-13.
23. Seshimo, K., Aoki, K., Tanaka, Y., Niwa, M., Kametaka, M., Sakai, T. and Tanaka, Y. (2015) : The property of fault zone and fault activity of Shionohira Fault, Fukushima, Japan. American Geophysical Union 2015 Fall Meeting, T51A-2864.
24. 柴田健二, 清水麻由子, 鈴木和博 (2015) : JAEA 土岐地球年代学研究所の JEOL FE-EPMA —JXA-8530F—を用いたジルコンの CHIME 年代測定, 名古屋大学年代測定総合研究センターシンポジウム.
25. Shibata, K., Shimizu, M., Suzuki, K., Sueoka, K. and Niwa, M. (2015) : CHIME monazite dating using FE-EPMA equipped with R=100 mm spectrometers. American Geophysical Union 2015 Fall Meeting, MR21A-2607.
26. 島田耕史 (2015) : 江若花崗岩中の小規模破砕帯の走向に関する方位統計学検討の試み, 日本地球惑星科学連合 2015 年大会, H-CG34-05.
27. 清水麻由子, 谷川 亘, 濱田洋平, 亀田 純, 山口飛鳥, 木村 学 (2015) : 日本海溝における沈み込み堆積物の力学的・水理学的特性と沈み込み帯弱面の発達過程, 日本地球惑星科学連合 2015 年大会, SSS02-P04.
28. 清水麻由子, 丹羽正和, 田中義浩, 青木和弘, 亀高正男 (2015) : 六甲断層・五助橋断層の断層岩における化学組成変化, 日本地質学会第 122 年学術大会講演要旨集, p.268.
29. 末岡 茂, 島田耕史, 石丸恒存, 丹羽正和, 安江健一, 梅田浩司, 檀原 徹, 岩野英樹 (2015) : FT 熱年代解析に基づいた黒雲母の塑性変形を伴う破砕帯活動時期の制約, 日本地質学会第 122 年学術大会, R12-P-1.
30. 末岡 茂, 田上高広 (2015) : 日本列島の基盤岩類の熱年代コンパイル, 第 39 回フィッ

ション・トラック研究会.

31. 末岡 茂, 島田耕史, 石丸恒存, 丹羽正和, 安江健一, 梅田浩司, 檀原 徹, 岩野英樹 (2015) : 黒雲母の塑性変形を伴う破砕帯の活動時期:FT 熱年代による年代制約の試み, 日本地球惑星科学連合 2015 年大会, SGL39-P02.
32. Sueoka, S., Shimada, K., Ishimaru, T., Niwa, M., Yasue, K., Umeda, K., Danhara, T. and Iwano, H. (2015) : Constraints on timing of faulting events associated with plastic deformations of biotites based on fission-track thermochronometry, American Geophysical Union 2015 Fall Meeting, T51A-2837.
33. 末岡 茂, 田上高広 (2015) : 日本列島基盤岩類の熱年代コンパイル:地質学的時間スケールにおける変形像の理解に向けて, 日本地球惑星科学連合 2015 年大会, SCG57-P04.
34. 高橋 浩, 半田宙子, 南 雅代, 中村俊夫, 荒巻能史, 板木さゆり, 國分(齋藤)陽子, 松原章浩, 西尾智博, 伊藤 茂, 山形秀樹, 和田秀樹, 坪井辰哉 (2015) : 水試料の 14C 濃度測定のための相互比較の試み (RICE-W プログラム), 第 17 回 AMS シンポジウム講演予稿集, p.25, 第 17 回 AMS シンポジウム報告集, p.56-59.
35. 田辺裕明, 丹羽正和, 石丸恒存, 島田耕史, 植木忠正 (2015) : 花崗岩中に発達する断層や粘土脈についての現地調査, 日本応用地質学会研究発表会, P37.
36. 梅田浩司, 浅森浩一 (2015) : 2011 年東北地方太平洋沖地震後に発生した福島県浜通り~茨城県北部の群発地震:震源域の深部比抵抗構造と地下水の溶存ガス組成, 日本地球惑星科学連合 2015 年大会, SCG61-01.
37. 梅田浩司, 浅森浩一 (2015) : 内陸地震震源域下の流体の分布と起源:地球物理, 地球化学データを用いた震源断層の調査技術に向けて, 日本地質学会第 122 年学術大会, R23-O-3.
38. Umeda, K. and Asamori, K. (2015) : Triggering of earthquake swarms following the 2011 Tohoku megathrust earthquake, Asia Oceania Geosciences Society 12th Annual Meeting, SE02-A003.
39. 渡邊隆広, 國分(齋藤)陽子, 村上裕晃, 岩月輝希 (2015) : キレート樹脂を用いた河川水および地下水中の希土類元素分析手法の検討, 日本陸水学会第 80 回大会, 2B-01.
40. 渡部 豪, 奥山 哲, 浅森浩一 (2015) : GPS 速度データより推定される九州地方のひずみ速度場, 日本地球惑星科学連合 2015 年大会, SSS31-P04.
41. 渡部 豪, 奥山 哲, 浅森浩一 (2015) : 活断層データベースを用いた地質学的ひずみ



- 速度の推定, 日本測地学会第 124 回講演会, 40.
42. Yamada, R., Ikemori, F., Nakamura, T., Masayo, M., Watanabe, T., Kento, K. and Matsuki, A. (2015) : Source apportionment of carbonaceous matter in PM2.5 at NOTO peninsula using 14C analysis, 9th Asian Aerosol Conference, P2-031.
  43. 安江健一, 須貝俊彦, 徳安佳代子, 小松哲也, 堀内泰治, 清水 整, 森田泰彦 (2015) : 地質環境長期安定性評価確証技術開発:後背地解析技術に関する研究, 日本地質学会第 122 年学術大会講演要旨集, p.174.
  44. 安江健一, 小松哲也, 徳安佳代子, 田村糸子, 堀内泰治 (2015) : 山地形成過程の把握に必要な後背地解析技術の研究-石英の放射線損傷を用いた手法-, 日本地質学会第 122 年学術大会講演要旨集, p.303.
  45. Yasue, K., Hirouchi, D., Saito-Kokubu, Y., Matsubara, A. and Furusawa, A. (2015) : Identification of Faulting Events based on Radiocarbon Ages of Continuous Black Soil along Active Fault in Trench Wall, American Geophysical Union 2015 Fall Meeting, T41B-2894.
  46. 横山立憲, 國分(齋藤)陽子, 村上裕晃, 平田岳史, 坂田周平, 檀原 徹, 岩野英樹, 常青, 木村純一 (2015) : レーザーアブレーション試料導入-ICP 質量分析法による炭酸塩鉱物の U-Th-Pb 年代測定技術の開発-, 2015 年度日本地球化学会 第 62 回年会 講演予稿集, p.25.